

第六十九回帝國議會
衆議院

不穩文書等取締法案委員會會議錄(速記)第八回

付託議案

不穩文書等取締法案(政府提出)
總動員秘密保護法案(政府提出)
退職積立金及退職手当法案(政府提出)
勞働組合法案(塚本重藏君提出)
母子扶助法案(片山哲君提出)
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(坂東幸太郎君外八名提出)

會 議

昭和十一年五月二十三日(土曜日)午前九時
四十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 熊谷 直太君

理事小山倉之助君 理事川崎末五郎君

理事齋藤 直橋君 理事益谷 秀次君

理事大養 健君

岡本實太郎君 鵜澤 宇八君

服部 英明君 勝田 永吉君

一宮房治郎君 田村 秀吉君

中村 又一君 福田關次郎君

原 夫次郎君 淺沼稻次郎君

一松 定吉君 木村 正義君

岡田喜久治君 芦田 均君

砂田 重政君 加藤鏖五郎君

宮澤 裕君 田尻 生五君

渡邊 泰邦君 福田 耕君

山口 久吉君 塚本 重藏君

田万 清臣君 藏原 敏捷君

同日委員服部英明君委員淺沼稻次郎君及委員原夫次郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ鵜澤宇八君岡田喜久治君及福田關次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月二十二日勞働組合法案(塚本重藏君提出)、母子扶助法案(片山哲君提出)及未成年者飲酒禁止法中改正法律案(坂東幸太郎君外八名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

內閣總理大臣 廣田 弘毅君

海軍大臣 永野 修身君

陸軍大臣伯爵 寺內 壽一君

司法大臣 林 賴三郎君

內務大臣 潮 惠之輔君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 次田大三郎君

資源局長官兼內閣東北振興事務局局長

松井 春生君

外務政務次官 猪野毛利榮君

內務政務次官子爵 鍋島 直繩君

內務省警保局長 萱場 軍藏君

社會局長官 廣瀬 久忠君

社會局部長 赤松 小寅君

社會局部長 山崎 巖君

陸軍政務次官子爵 立見 豐丸君

陸軍次官 梅津美治郎君

陸軍主計總監 平手勘次郎君

陸軍少將 磯谷 廉介君

陸軍省法務局長 大山 文雄君

陸軍一等主計正 栗橋 保正君

海軍次官 長谷川 清君

海軍參與官 永田善三郎君

海軍中將 豐田 副武君

司法省刑事局長 岩村 通世君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

不穩文書等取締法案(政府提出)

總動員秘密保護法案(政府提出)

退職積立金及退職手当法案(政府提出)

○熊谷委員長 是ヨリ開會致シマス、此場

合ニ於テ政府ヨリ總動員秘密保護法案ニ付テ更ニ御説明ヲヤリタイト云フ御請求ガリマス、之ヲ許シマス、即チ是ヨリ總動員秘密保護法案ノ審議ニ掛リマス

○寺內國務大臣 此法案ノ精神ニ付キマシ

テハ御承知デゴザイマシテ、或ハ蛇足カモ存ジマセヌガ、一言私ノ信ズル所ヲ申述ベ

テ置キマス、將來戰ガ國力戰デアルト云フ

コトハ、既ニ申ス迄モナイコトデ、御承知ノ

コト、存ジマス、其當然ノ歸結トシテ平時

カラ國ノ戰爭能力ヲ持チ得ル限リ取得スル

ト云フコトガ、極メテ私共ノ立場トシテ必

要デアルト考ヘマス次第デアリマス、是ハ

唯軍機ヲ保護スルノミナラズ、ソレダケデ

ハ足リナイノデゴザイマシテ、國防上重要

ナ資源竝ニ其狀況ニ付テモ同様ニ考ヘナケ

レバナラスト思フノデゴザイマス、ソコデ

今回提出セラレマシタ法案ノ精神ト云フモ

ノハ、眞ニ國際的「スパイ」又是等ノ「ス

「スパイ」ノ手先ニ依ッテ活動シテ居ル者ノ「スパイ」行爲ヲ防グト云フコトガ眞ノ目的デゴザイマシテ、又同時ニソレ等ニ付テノ、例ヘバ重要ナ工場ヲ持ッテ居ラル、方々ガ、國防上ノ機密保持ト云フコトノ——自分等ニモ一部ノ機密保持ト云フコトニ付テノ責任ヲ自覺セラル、ト云フヤウナコトヲ喚起スルト云フコトガ主眼デアルト私ハ信ジテ居リマス、ソレデ色々是ガ爲ニ國內ノ産業、其他ヲ發達セシムル爲ニ御調査ニナルト云フヤウナコトマデモ妨グルト云フヤウナ精神デハナイト信ジテ居ルノデゴザイマス、ソレ等ニ付テハ何等支障ハナイコト、信ズル者デゴザイマス、大體斯ウ云フ精神ニ於テ此法案ガ提出セラレタコトヲ、ドウカ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、一言申上ゲテ置キマス

○熊谷委員長 海軍大臣ガ御見エニナラヌヤウデスカラ、暫ク待チマセウ

○永野國務大臣 本案ヲ制定スルノ必要ナル理由ニ付キマシテハ、既ニ當局ヨリ説明シタ通りデゴザイマス、將來戰ノ形態ニ考ヘ、又廣義國防上ノ見地竝ニ近來外國ノ「スパイ」ガ非常ニ日本ニ活動致シマシテ、是ハ昭和六年頃マデハ「スパイ」ガ割合ニ少ナウゴザイマシタ所、滿洲事件後非常ニ

「スパイ」ガ殖エマシテ、特ニ海軍ノ見地ト致シマシテモ、無條約ニナリマシタ場合ニハ、尙ホ此活動ガ一層甚シクナルガラウト思フノデゴザイマス、是等ノ見地ヨリ見マシテ、海軍ニ於キマシテモ一日モ速ニ此法案ノ制定ガ出來マスルヤウ希望ニ堪ヘナイ所デゴザイマス、尙ホ「スパイ」ノ活動ノ狀況等ニ付キマシテハ、若干資料モアリマスノデ、若シ御希望デゴザイマシタラバ、祕密會デ申上ゲタイト思ヒマス

○熊谷委員長 御諮リヲ致シマスルガ、只今海軍大臣ノ御聲明ニ依リマシテ、相當ノ「スパイ」ノ資料ヲ提供シタイ、併シ是ハ公開デハイケナイ、祕密會ニ致シタイト云フ御希望デアリマスルカラ、祕密會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

○砂田委員 一寸申上ゲマス、祕密會モ結構デスガ、此前ノ祕密會ナドハ、祕密ニスベキ事項デナイコトヲ祕密會デヤラレテ、今度ノ議會ニ初メテノ例デスガ、ソレニ依ッテ議員ガ羈束サレテ、其事ハ少シモ口ヘ出シテ言フコトガ出來ナイ、是ハ非常ニ宜クナイコトダト思フ、ソレデアリマスルカラ、大體ノ大綱ニ互ル質問ヲ終リマシタ後ニ、必要ガアレバ、其必要ノ分ヲ祕密會デヤッテ載クト云フコトニシテ、大體ノ骨子ヲ吞込

マナケレバ、私共ハ直チニソコニ移ッテ行クト云フコトハ早過ギヤシナイカト思フ、根本ニ對スル大體ノ骨子ヲ伺ッタ後ニ祕密會ニ移ッテ、「スパイ」ノ内容ナドヲ伺ッタ方ガ宜イト思ヒマス、サウシマセヌト、案全體ニ對スル大綱モ何モ承ラナイデ、イキナリ今御話ノ如キモノヲ承リマシテモ、案全體ノ贊否ト云フコトハ、ソレニ依ッテハ決セラレナイト思ヒマス、出來得レバ私ハ先ヅ其大綱ニ互ルコトノ質問ヲ御許願ヒタイト思フ、ソレデ其前ニ議事ノ進行ニ互ル事項デアリマスガ、此法案ハ殆ド總テノモノガ命令ト勅令ニ一任サレテ居ルノデゴザイマスルカラ、此第三條ノ勅令ノ大體ノ原案及第四條ノ命令ノ内容、第六條、第七條ノ命令ノ内容、是ハ見セテ戴キタイト思ヒマス、先ヅ其内容ヲ御示シテ願ッテカラデナイト、殊ニ第六條、第七條ノ如キハ、其命令ニ違反シタル者ヲ一年以下ノ懲役ニ處スルト云フ重大ナ案件デ、命令ニ依ッテ刑罰ヲ科セラレルコトニナルノデアリマスカラ、其命令ノ内容ガ大體分リマセヌケレバ、審議ハ進メラレナイト思ヒマス、隨テ是ハ政府ノ方カラ參考書類トシテ提出ヲ願ヒマシテ、ソレカラモウ少シ案全體ニ互ル質問ヲシタ後ニ、祕密會ニ移ラレンコトヲ望ミマ

ス

○服部委員 只今ノ御說一應御尤ノヤウデアリマスガ、私共此總動員ノ條文ハ、本當ニ能ク讀ンデ居ナイ譯デス、其間ニ讀ム時聞ト、又「スパイ」ト云フモノガ一番活躍シテ、ソレヲ制スルト云フノガ其主タル目的デアラウカラ、「スパイ」ト云フモノガドノヤウナ狀態ノモノダト云フコトヲ、先ニ聽イテ置イタ方ガ私ハ便利ダト思ヒマスカラ、此場合祕密會ニ直グ移ランコトヲ希望致シマス

○大養委員 先程ノ委員長ノ御意見モアリ、服部君ノ御意見モアッテ一應御尤デゴザイマスガ、私ハ此際ニ大變宜イ機會デアリマスカラ、政府ノ此委員會ニ臨マレル根本ノ御態度ニ付テ御參考マデニ注意ヲ喚起シタイノデアリマス、吾々國家ヲ愛スル者トシテ「スパイ」及「スパイ」ノ手先ヲ憎ミ、其行爲ヲ防グト云フコトニ誰一人日本臣民異存ハアリマセヌ、然ルニ此法案ガ政府既ニ御承知ノヤウニ衆議院ニ於テ非常ニ空氣ノ惡イノハ、サウ云フ國民トシテ一點疑ヲ挾ム餘地ノナイ筈ノ本法案ガ、此法文ノ構成上甚ダ廣汎ニ互ッテ、良民ヲ苦シメル虞アリト云フ感ジヲ懷カシムル所ニ、此法案ニ對スル衆議院ノ空氣ガ惡イ根本ノ點ガアル

ト私ハ解釋致シテ居ルノデアリマス、段々露骨ニ申ゲタ方ガ御參考ニナルト思ヒマスガ、私共ハ現ニ政治家ノ立場ニ於キマシテ政務調査ヲスル、國防ヲ鞏固ナラシムル政府ノ研究調査モ其調査ノ中ニ入ル、併ナガラ國家ノ重要ナル資源、其充實、缺乏ノ狀態、如何ニ充實セシムルカ、其缺乏ノ現狀原因ヤ如何ト云フヤウナコトヲ調べテ行キマス、或ハ若シヤシテ本法ニ觸レルヤウナコトガアリハシナイカト云フヤウナ空氣モ實ハ相當深刻ニアルノデアリマス、デスカラ只今ノ御話ノヤウニ「スパイ」ノ現狀ガ如何ニ深刻ナモノガアルカト云フヤウナコトノ御説明ハ、寧ロ第二ニ宜シト思フ、モット總括的ニ本法ノ御精神ノアル所ヲ衆議院ノ全般ニ互テ徹底サシテ戴キタイト思フ、此意味ニ於テ折角服部サンノ御發言モアリマスケレドモ「スパイ」ノ現狀ノ研究ナドト云フコトハ誰一人國民トシテ異存ノナイコトデアリマス、隨テサウ云フコトハ後廻シデ宜シイ、此意味ニ於テ私ハ砂田委員ノ發言ニ賛成致シマス

○砂田委員 一寸モウ一言申上ゲテ置キマス、「スパイ」ヲ排撃スルト云フコトハ誰人モ異存ハ絶對ニアルベキ筈ノモノデヤナイ、實ハ此間秘密會デ其事モ大體下ナタデ

アツカ政府ノ人カラ伺ッタノデアリマシタガ、私共ソコニモ非常ナ疑ヲ有ッテ居ル、サウ云フ認定サレタヤウナモノガアルノニ、何故今日マデ行政處分ヲシナイカト云ウタラ、實ハソレハ疑ガアルガデ認定シタモノデナイ、マルデ前言ヲ取消サレテシマッタ、サウ云フコトデアッテモ其内容ニ互ル事ハ一切私共此處デ質問ガ出來ナクナル、秘密會デヤラレタコトハ……ソレダカラ大體ノ大綱ダケ伺ッテカラ——ソレヲ征伐スル爲ニハドシナ法律ヲ作ッテ宜シイケレドモ、案全體ニ對スル大綱ノ質問ダケハ先ヘヤラセテ貰ッテ、ソレカラ秘密會ニ移ッテ行カナイト、却テ議員ノ質問ノ權能ヲ封鎖サレルヤウニナリマスカラ、秘密ニ互ルコトハ吾々心得テ居リマスシシマスガ、ソレダケドゾ御諒承願ッテ、服部君成ベク妥協シテ一ツ御願シタイト思ヒマス

○川崎委員 只今砂田君ノ動議ガアリマシテ、之ニ付テ服部君ノ御意見モアリマシタガ、私ハ砂田君ノ御意見ニ賛成デ、此際審議ノ都合上秘密會ガ必要ナ場合ニ於テハ、一應ノ大綱ノ質問ヲ終ッテ後ニ行フト云フコトニシタイト思ヒマス、併セテ私ハソレニ關聯致シマシテ、不穩文書ノ方ノ質問モ多少殘ッテ居リマスカラ、此際其方ヲ御審議

ヲ願フコトニ致シマシテ、成ベク速ニ不穩文書ノ質問ヲ終ヘマシテ、直チニ引續キ此方ノ審議ニ入ル、サウ云フヤウニ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス

○熊谷委員長 只分川崎君ノ御動議ガアリマスガ、御異議アリマセヌカ

「異議ナシト呼フ者アリ」

○熊谷委員長 ソレデハ其通り決定シマス——只今砂田君ヨリ御請求ニナリマシタ所ノ勅令案ノ草稿ノ材料ガ政府カラ來マシタカラ、ソレヲ配付致シマス、是ニテ先ヅ一應總動員ニ關スル法案ノ審議ハ暫時中止シマス

○一松委員 サウシマス此不穩文書等取締法案ニ入ッテ宜シイノデスカ

○熊谷委員長 一寸御待チ下サイ、是カラ宣言シマスカラ——ソレデハ不穩文書等ノ取締法ニ付テノ審議ニ移リマス、是ハ昨日ノ引續キデアリマシテ、先ヅ以テ田村秀吉君ニ發言ヲ許シマス、田村君

○田村委員 私ハ極メテ簡單ニ御尋ヲ致シタイノデアリマスガ、既ニ不穩文書取締法ニ付テハ、逐條同僚委員ノ方々カラ、一日來質問應答ガ重ネラレテ、政府モ議會ノ意ノ在ル所ハ御分リニナタト思ヒマス、私ハ簡條ニ付テハ御尋スル點ガアリマセヌノ

デ、唯一ツ——一體怪文書ノ取締ノ必要ノアルコトハ私モ認ムル一人デアリマス、唯何ガ怪文書デアアルカト云フコト、其限界ガ非常ニ困難デアルト思フ、隨テ限界ヲハッキリシナイト怪文書取締法ヲ運用スル上ニ於テ非常ナ弊害ガ生ジハセヌカ、是等ガ私共ノ非常ニ心配スル所デアリマス、現在怪文書ノ出マス原因ハ、他ノ委員ノ方ノ仰シヤッタヤウニ、言論界ノ抑壓ト云フコトガ一ツノ原因デアラウト思ヒマス、隨テ此怪文書ノ取締法ノ限界ヲハッキリスルト云フコトニ依ッテ、一面ニ現在抑ヘラレテ居ル所ノ言論ノ抑壓ト云フ空氣ヲナクシテ、言論界ヲ明朗ニスルト云フ效果ヲ、此怪文書ノ取締法ノ制定ニ依ッテ拵ヘタイト云フノガ吾々ノ希望デアリマス、一體日本ノ政府ト云フモノハ、政府ノヤルコトハドシナ事デモ非常ニ良イ事デアルト云フヤウニ考ヘル癖ガアリマス、又國民ノ中ニモ動モスレバ政府ノスルコトハ總テ良イノデヤナイカト云フ風ニ考ヘル癖ガアルノデアリマス、是ニ於テ斯ウ云フ法案ヲ拵ヘマスト、殊ニ此罪ガ目的犯デアルト云フ點ニ、私共ハ現在出サレテ居ル所ノ法案ガ出來マスレバ、茲ニ幕末ニ行ハレタヤウナ、所謂政府ノヤリ方ヲ保護スル穩密政治ト云フモノガ行ハレハセ

ヌカト云フコトヲ非常ニ恐レルノデアリマス、此點ニ付テ一點ダケ御尋致シタイノハ、現在官僚ニ對スル色々反感ガ國民ノ間ニ行ハレテ居リマス、殊ニ官廳ノ事務ニ携ラネバナラヌヤウナ人々ガ新官僚團體ナドト云フモノヲ結成シテ、政治的ノ策動ヲシ、或ハ内務省ノ内務大臣ニハ何カ國民代表ハ入テナラヌ、或ハ内務省ノ政務官ニハ國民代表入ルベカラズ、斯ウ云フ風ナ政治的策動ヲシテ居ル、之ニ對シテハ相當國民ノ憤激ガアル、隨テ今後ハ一層斯ウ云フモノニ對スル攻撃ガ國民ノ間カラ相當猛烈ニナラウト思フ、サウ云フ場合ニ此官僚ガ新團體ノ如キモノヲ結成シテヤルコトハ怪シカラヌ、斯ノ如キモノハ絕對ニ排撃シナケレバナラヌト云フ、相當強イ文書ガ行ハレル——私ハ簡單ニスル爲ニ一問一答ノ形式ヲ避ケテ一緒ニシテ御尋致シマスカラ、一緒ニ御返答ヲ願ヒタイト思ヒマスガ——サウ云フヤウナ官僚排撃ノ猛烈ナル文書ガ出タ場合ニ、之ヲ人心ヲ惑亂スル目的アリト認定シテ、之ヲ取締ルト云フヤウナ弊ガ地方官憲——昨日ノ御答ニ依リマス、司法大臣ハ是ハ檢事ガ指揮スルカラ心配ハナイト仰シヤッタノデアリマスガ、實際ニ於テハ中々サウ云フコトヲ指導出來ルモノデハナ

イ、地方ノ警察官ナドガ、政府ニ反對スルノダカラ怪シカラヌ、政府ノモノヲ攻撃スルノダカラ怪シカラヌト云フヤウナ譯デ、官僚ヲ攻撃スルヤウナ文書ヲ、徒ニ目的アリト認定シテ不法ナル取締ヲヤルヤウナ虞ハナイカ、又一ツノ例デ申上ゲレバ米穀法案デアリマスガ、サウ云フヤウナ政府ノ政策ガ出タ時、政府ノ政策ガイケナイト云フノデ強イ攻撃ヲシタ場合ニ、或ハ人心ヲ惑亂シテ多少治安ヲ妨害スルヤウナ事實ガ發生スルカモ知レヌト云フヤウナ認定ノ下ニ、サウ云フ政府ノ政策ヲ攻撃スル文書ヲ出シタ場合ニ、是亦政府ヲ攻撃スルモノナリト認定シテ、不法ニ取締ルヤウナ事態ガ起リハシナイカ、此二點ニ付テ司法大臣竝ニ内務大臣ノ——恐ラク無イト仰シヤルデアリマセウガ、虞ガナイトマデ斷言シ得ラレルカドウカラ承ッテ置キマス

○潮國務大臣 私カラ先ヅ御答ヲ致シマスガ、決シテ此法案ハ所謂其時ノ政府ヲ擁護シヨウト云フ目的デハ全然ナイノデアリマス、隨テ御示シナリマシタ官僚ガ云々、或ハ新官僚ト云フ御話デアリマスガ、是モ非常ニ言葉ハ難シイト思ヒマスガ、何レニシマシテモ、是ハ要スルニ政府トカ官僚ノ爲ニ之ヲヤルノデヤナイノデアリマス、全

ク國家社會ノ公安ヲ維持スル爲デアルノデアリマスカラ、米穀法案トカ、其他色々政策モゴザイマセウ、ソレニ對シマシテハ贊成ノ意見モアレバ反對ノ意見モアル、偶、其政策ニ贊成ヲシ兼ネル人ガ文書ヲ出シタカラト云ッテ、左様ナモノガ治安ヲ妨害スル程度ニナラズ、人心惑亂ナリ、或ハ財界攪亂ナリト云フヤウナ目的ナクシテ出タト云フヤウナ文書ニ對シテマデ取締ラウト云フコトハ、毛頭無論提案者ノ意思デモナシ、又將來モ左様ナコトハ決シテ有ルベキ事デハナイト思ヒマス、續イテ司法大臣カラ御答ガゴザイマス

○熊谷委員長 只今司法大臣ハオ見エニナリマセウガ……

○田村委員 刑事局長デモ宜シウゴザイマス

○岩村政府委員 司法大臣ハ貴族院ノ方ニ出テ居リマスノデ、私カラ御答申上ゲマス、只今御尋ニナリマシタ搜查ニ當リマシテ、檢事ガ十分ニ指揮監督ガ出來ルカト云フ點ノ御質問デゴザイマス、其點ニ付キマシテハ昨日モ申上ゲマシタ通り、搜查ニハ搜查ニ著手ノ稟議ノ手續ト云フモノガ實際上ゴザイマシテ、事件ヲ探知致シマシタ際ニ、重要事件デゴザイマシタナラバ、其事件ノ

搜查ニ著手スベキヤ否ヤト云フコトヲ上司ニ稟議ヲ致シマシテ、然ル後搜查ニ著手スルト云フ手續ガゴザイマス、現在數種ゴザイマス、サウ致シマス、實際ノ例デ申シマス、或ル文書ガ問題ニナッタ場合ニ、此文書ハ第一條ノ文書ニ該當スルヤ否ヤト云フ問題ガ起リマス、第一條ノ治安ヲ妨害スベキ事項ニ該當スル文書デアル、併ナガラ目的ノ點ハドウデアラウ、一應是ハ調べテ見ナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、其搜查ニ著手スル前ニ於テ、是ハ搜查ニ著手スベキモノデアルカドウカト云フコトヲ上司ニ——上司ト申シマスレバ、例ヘバ檢事デ申シマスと檢事長、或ハ檢事長ヨリ檢事總長、順次ニ稟議ヲ致シマス、サウシテ是ハ搜查ニ著手スベキモノデアルト云フ命令ヲ致シマシテ、搜查ニ著手スル場合ガアル、サウ云フ手續ヲ探リマシタナラバ、此人權ノ尊重ト云フヤウナコトニ付テ完全ヲ期スルコトガ私ハ出來ルト考ヘマス、此法案ハ色々御質問等ガアリマス、人權ニ非常ニ關係ノ深キ法案ノヤウデアリマスガ、若シモ通過デモ致シマシタナラバ只今申上ゲマシタ搜查著手ノ前ニ稟議ヲ致シマシタナラバ其點ハ懸念ガナイノデハナカラウカト、斯ウ私ハ考ヘテ居リマス、ソレダ

ケ私ヨリ御答致シマス

○田村委員 起訴ニ付テハ只今政府委員ノ

御説明ノヤウニ出來ルト思ヒマスガ、捜査

ニ著手スルト直チニ引縛ッテシマッテ、然ル

後ニ捜査ヲ續ケテ行クト云フヤウナ弊ガ非

常ニ行ハレテ居ルノデアリマス、サウ云フ

コトハ今後絶對ニシナイト云フ方針ナレバ

兎モ角デアリマスガ、然ラザル限り今ノ御

答辯デ私満足シ得ナイノデアリマス、此點

ハ打切りマシテ、其次ニ一言陸軍大臣ニ御

伺致シタイノハ、一體此法案ト云フモノハ

極メテ亂暴ナ法案デアリマス、私共ハ此法

案ヲ實際ハ否決シタイト云フ氣持デアリマ

スガ、唯陸軍大臣ガ昨日モ御話ノ中ニ、肅軍

——吾々國民ハ現在肅軍ト云フコトニ付テ

ハ非常ナ期待ト熱望ヲ持ッテ居リマスガ、肅

軍ノ上ニ今日ノ事態ニ於テ、此法案ガ必要

デアルト云フ御言葉ガアリマシタノデ、私

共ハ此法案ガ假ニ肅軍ノ上ニ必要缺クベカ

ラザルモノデアルト云フ御言葉ニ對シテ、

サウ云フコトガ出來ルナラバト云フ所ニ、

出來ル限りノ慎重審議ヲシタイト云フ私共

ハ誠意ヲ持ッテ居ル者デアリマスルガ、凡ソ

怪文書ガ一番最近非常ナ惡影響ヲ及ボシテ

居ルノハ軍部ノ内部ニ對シテデアラウト思

フノデアリマス、ソコデ軍部ニ對スル怪文

書ノ影響ハ、私共ノ聞キマス所ニ依ルト二

ツアル、現役軍人自身ガ出シテ居ル怪文書

ト、軍ノ外部カラ軍人ニ對シテ出シテ居ル

怪文書、此二ツアルヤウデアリマスガ、軍

部ノ外部カラノ怪文書ニ對シテ斯ウ云フ法

案ガ必要デアルト云フコトハ、昨日ノ芦田

サノ御尋ニ對シテ陸軍大臣カラ御話ガア

リマシタカラ、是ハ私省略致シマスガ、一

體現在軍部ノ内部ニ派閥關係ガアッテ——

人事ノ亂脈カラ派閥關係ヲ生ジ、派閥關係

ガ出來テ、統制派ト皇道派ガ入亂レタ爲ニ

軍ノ統制ガ亂レテ、其結果怪文書ガ横行ス

ルヤウニナッタト云フコトヲ聞イテ居リマ

ス、併シ陸軍大臣ハ此派閥關係ヲ一掃シ、

人事ノ亂脈ヲ整調シテ、肅軍ヲ徹底スルト

云フコトヲ、本議會ニ於テ度々御聲明ニナッ

テ居ラレマスルカラ、私共議員ヲ初メ國民

ハ殆ド全幅ノ信頼ヲ現在ノ陸軍省ニ對シテ

掛ケテ居ルノデアリマス、隨テ此肅軍ガ私

ハ外カラノ問題デナクシテ、現役軍人ノ間

ニ怪文書ヲ自ラ發行スル場合、或ハ現役軍

人ガ他ノ者ニ對シテ不穩ナル怪文書ヲ發行

スル場合ニ、必ズシモ此法案ガナクトモ、

此法律ガナクトモ、軍紀軍律ノ上カラ陸軍

大臣ハ現役軍人ニ關スル限り、肅軍ヲ徹底

シ得ルノデハナйкаト私共ハ期待シテ居ル

ノデアリマスガ其點ニ付テ陸軍大臣ノ御所

見ヲ承リタイノデアリマス

○寺内國務大臣 怪文書ト云フモノハ軍ノ

内部カラ出テ居ルモノハ殆ドナイノデゴザ

イマス、ソレカラ色々軍ノ中ニ派閥抗争ガ

アルト仰シヤイマスガ、是ハドウモ外デサ

ウ云フコトヲ色々言フノデゴザイマシテ、

是亦私共ハ實ハ甚ガ解セナイノデアリマ

ス、例ヘバ私自身ニシマシテモ能ク色々何

派トカ言ハレタコトガアリマスケレドモ、

私毛頭サウ云フ覺エハナイ、外デ勝手ニサ

ウ云フコトヲ造ッテ居ルノデゴザイマシテ、

軍ノ中ニ派閥ト云フモノハ私ハナイト思ッ

テ居リマス、ソレカラ只今申上ゲマシタヤ

ウニ軍ノ内部カラ怪文書ヲ出シタト云フコ

トガ若シアッタトスレバ、是ハ其儘ニ差措

カレテ居ラス筈デアリマス、ドウゾ左様御

承知ヲ願ヒタイ

○田村委員 ソレカラ今一點承リタイノ

ハ、一體此法案ハ法條カラ見ルト僅カ五箇

條デアリマシテ、極メテ簡單デアリマス

ガ、其中ニ盛ッテ居ルモノハ、言論ノ自由壓

迫ト云フ重大ナル内容ヲ有ッテ居ルノデア

リマス、而モ怪文書横行ト云フコトハ、コ

コ數年來アリマスノデ、私ハ此法案ヲ立

テルニ付テハ當局モ率然ト御立テニナッタ

ノデハナカラウト思ヒマスガ、私共ノ聞ク

所ニ依ルト、數年前カラ内務省ニ於テ斯ウ

云フ法案ヲ立案シテ居ラレタ、併シ機ガ

熟セズシテ今日ニ至ッテ居ラレタト云フコ

トヲ洩聞イテ居ルノデアリマスガ、數年前

カラサウ云フ風ナ御計畫ガアリマシタカド

ウカ、本案ヲ立テルニ付テノ経緯ニ付テ簡

單ニ御伺致シタイノデアリマス

○潮國務大臣 所謂怪文書ノ横行ト云フコ

トハ最近ガ最モ甚シイノデハアリマスケレ

ドモ、數年前カラヤハリ斯ウ云フ種類ノ文

書ナリ、言説ト云フモノガアッタコトハ事

實デアリマシテ、相當其弊害ト云フモノニ

ハ著目致シテ居ッタノデアリマス、政府ト致

シマシテモ何等カ之ニ適當ナル處置ヲ講ジ

ナケレバナラスト云フコトヲ考ヘ、又議會

等ニ於キマシテモ此方面ノ取締ニ付テハモ

ウ少シ考慮スベキデハナйкаト云フヤウナ

御話モアリマシテ、常ニ研究調査致シテ居

リマシタケレドモ、未ダ成案ヲ得テ議會ノ

御協賛ヲ仰グト云フ場合ニ至ラナカッタノ

デアリマスガ、近年、殊ニ最近ニナリマシ

テハ最早捨テ置クコトハ出來ナイト云フコ

トニナリマシタノデ、從來ノ經驗ト今日ノ

情勢ト、兩方カラ併セ考ヘマシテ、遂ニ此

案ヲ得マシタ次第デアリマス

○田村委員 實ハ斯ウ云フコトヲ私共聞ク

ノデス、是ガ内務省案トシテ相當練テ居ラレタト云フコトハ今ノ大臣ノ御答辯デ分リマシタガ、内務省ガ斯ウ云フ不穩文書法案ヲ拵ヘヨウトシテ居、司法省ガ此案文ガハッキリシナイノデ反對シテ居、偶、軍秩ト云フ問題ガ起キタノデ、此法案ヲ軍秩紊亂ト云フ、此必要ニ便乗シテ今回急ニ出來タト云フコトヲ承テ居ル、此點ハ別トシテ一體斯ウ云フ重大ナル法案ヲ拵ヘルニ付テ、政黨モ亦言論機關ニ於キマシテモ、怪文書取締ノ必要ト云フコトハ認メテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、斯ウ云フ重大ナ法案ニ付テハ内面的ニデモ政府當局ハ政黨ノ意嚮ヲ質シ、若クハ言論機關ノ意嚮ヲ斟酌スルト云フ態度ヲ法案ヲ立テルニ付テ御執リニナッタコトガアリマスカドウカ、其點ダケヲ承テ置キマス

○潮國務大臣 此法案ノ今日成立致シマス

ル經過ニ於キマシテ、司法當局ガ反對デアッタトカ云フコトハ絶對ニナイノデアリマス、ソレハ各意見ガアリマスルカラ、意見ヲ交換シ、議論モ致ス場合ハアリマスケレドモ、根本ニ於キマシテ、司法當局ニ於テ反對ヲ爲サレルヤウナ意思ハナカッタト私ハ確信ヲ致シマス、而シテ軍秩ニ便乗ナド

ト云フコトハチットモナイノデアリマス、軍秩ニ關スル問題ハ極メテ重要ナ問題デハアリマスガ、其他政界ニ對シテモ彼此レノ議論モアリマスシ、財界ニ對シテモ彼此レノ

議論モアル、是ハヤハリ同ジク取締ラナケレバ公安ガ維持出來ナイ、斯様ニ致シマシテ別ニ各方面ニ向ッテ此案ヲ御示ヲシテドウ斯ウト云フコトハ致シマセヌデゴザイマシタケレドモ、諸方面カラモ色々ナ御議論モアリマスルノデ、ソレ等ノ點ヲ十分ニ斟酌シ、サウシテ已ムヲ得ズ此程度ノ案ハ必要デアラウト云フコトデ立案ヲ致シタ次第デアリマス

○田村委員 私ハ是デ終リデアリマスガ、

最後ニ此二三日來何處カラ放送致シテ居ルカ知リマセヌガ、院内ニ於テ斯ウ云フコトヲ聞クノデアリマス、若シ此怪文書法案並ニ總動員祕密保護法案ガ議會ニ於テ審議未了ニ陥ッタヤウナ場合ニハ、政府ハ緊急勅令ニ依ッテ之ヲ出スデアラウト云フヤウナ、無論是ハ所謂流言浮説デアラウトハ思ヒマスガ、事柄ハ極メテ重大デアリマス、此點ニ付テ特ニ國務大臣トシテ陸軍大臣並ニ内務大臣ニ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○潮國務大臣 政府ハドウカシテ此原案ノ

御協賛ヲ願ヒタイト思ウテ居ル最中デゴザイマスカラ、決シテ將來緊急勅令ト云フヤウナコトヲ今考ヘテナドハ居リマセヌ

○寺内國務大臣 同様ト御承知ヲ願ヒマス

○熊谷委員長 一松定吉君

○一松委員 一寸簡單ニ御伺致シマス

ガ、第一條、第二條、第五條ニ「發行ノ責任者ノ氏名及住所」トアル、サウ致シマスト氏名ト云フカラニハ苗字ト名前ガナケレバナラヌ、住所ト云フト、例ヘバ何市、何郡、何町何番地トナケレバナラヌ、サウ致シマススト斯ウ云フ場合ハドウナルノデスカ、薩摩ノ南洲、或ハ岡山縣ノ木堂、斯ウ云フヤウニ名前ガ書イテアル時ニハ、是ハ所謂氏名住所ノ記載ガナイモノデアルト云フコトデ、一項ノ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラルベキ者ガ、五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處セラレルコトニナル、斯ウ云フヤウナコトハ刑法ノ解釋上當然サウナケレバナラヌト思フノデスカ、此氏名住所ト云フコトハドウ云フヤウニ解釋スルノデアリマスカ、之ニ付テ誰カ質問致シマシタカ、質疑應答ガアッタナラバ控ヘマスガ、ナケレバ是ハ此法案ヲ適用スル上ニ於テ最モ大事ナコトデアルカラ、御答辯ヲ願ヒマス

○萱場政府委員 今日新聞紙法、出版法ニ

依ッテ取扱フト同ジャウニ、住所氏名ヲ記サネバナラスト云フコトニ考ヘテ居リマス

○一松委員 其事ヲ聞イテ居ルノヂヤナイ、私ノ尋ネルノハ、今言フヤウニ伊勢ノ

豐堂ト云フコトヲ書イタラドウナルカ、或ハ大和村ノ克堂ト書イタラドウナルノデスカ、サウ云フヤウナ住所デモナケレバ氏名デモナイ、併ナガラソレハ顯著ナル事實デアッテ、三重ノ豐堂ト言ヘバ尾崎行雄先生ト云フコトハ直グ分ル、大和村ノ克堂ト言ヘバ若槻禮次郎先生ト云フコトハ直グ分ル、岡山縣ノ木堂ト言ヘバ犬養毅先生ト云フコトハ直グ分ル、サウ云フヤウニ分ッテモ、ソレハ住所氏名ノ記載ガナイモノデアルトシテ、此二項ノ五年以下ノ懲役若クハ禁錮、或ハ三年以下ノ懲役若クハ禁錮ト云フコトニ當リマスガ、刑法ノ文書偽造罪ニ依レバ、署名ヲ偽造シ云々ト書イテアルガ、署名ダト云フコトニナルト、今私ノ申上ゲルヤウナ場合ニハ、ソレガ署名ト認メラレケレドモ、此ヤウニ住所氏名ト書イテアルト、一松ト書イタダケニ依ッテ、氏ハアルケレドモ、名前ガナイカラ直チニ是ハ罰セラル、斯ウ云フ點ハ此運用ニ最モ必要ナ事柄デアルニ拘ラズ、司法省ガ之ニ關係シ

テ居、テ、此處ニ何等ノ疑ヲ持タナカッタノ
デアルカ、若シ持ッテ居ナカッタトスルナラ
バ是ハ重要ナコトデアリマスカラ、吾々ハ
此法案ヲ通スニシテモ、是ハ修正デモシナ
ケレバナラヌト思フノデアリマス、是ハ決
シテ簡單ナ問題デアリマセヌ、運用ニ當
テハ最モ大事ナ問題デアル、明快ナル御答
辯ヲ願ヒマス

○岩村政府委員 御答申上ゲマス、實ハ出
版法、新聞紙法等ニ其氏名住所ヲ記載スベ
シト云フコトガアルノデアリマス、ソレト
同ジ意味デ此法案ハ立案セラレテ居ルノデ
アリマス、先程ノ例ノ、例ヘバ薩摩ノ南洲、
是ハ實際分リマスケレドモ、斯ウ云フ例ハ
非常ニ少イ例ナノデス、先程御舉ゲニナリ
マシタコトハ、實ハ其住所、或ハ其國、其
縣ヲ付サナクテモ分リマス、例ヘバ南洲ト
言ヘバ鹿児島ト云フコトハ書カナクテモ宜
イ、其他ノ例モ其號ヲ聞ケバ吾々ハ直チニ
其縣、其國ヲ思出スガ、是ハ非常ニ少イ場
合デス、一般ノ例カラ申スト、ヤハリ氏ト
名、住所、之ヲ明ニ致シマセヌト、取締ノ
方面カラ申シマシテ不十分デハナイカト私
ハ考ヘマス、但シ事件トシテ取扱フベキ場
合ニ、鹿児島ノ南洲、斯ウ云ッタヤウナ事
件ガ起ッタ場合ニ、ソレハ怪文書ダト云フ風

ニシテ非常ニ情ノ重キモノトシテ起訴スベ
キヤ否ヤハ別問題デアリマス、是ハ結局裁
判例等ニ於テ決マルコトトハ考ヘマスガ、
此法文自體デ氏名トアレバ署名トハ違フト
云フ解釋ニハナラウト私ハ思ヒマス、御示
シノ特殊ナ著名ノ方々ノ場合ニハ不用デア
リマセウガ、一般的ニ之ヲ法規トシテ制定
致シマス場合ニ、號デ宜シイ、或ハ國デモ
宜シイ、分レバ宜シイト云フコトハ立法
技術トシテハ餘程困難ノヤウニ私ハ考ヘマ
ス、結局出版法ト同ジ解釋ニナラウカト
私ハ考ヘテ居リマス、考ダケヲ申上ゲマ
ス

○一松委員 アナタノ其議論ハ起訴不起訴
ノ場合ニ重大ナル影響ガアル譯デ、此犯罪
ノ成否ニ重大ナル影響ガアル、ソレハ今私
ガ舉ゲマシタヤウナ場合ニハ、ソレハ虚偽
ノ記載ヲシタモノデハナイ、ソレハ住所氏
名ト認メルコトノ方ガ宜シイノダト云フナ
ラバ、サウ云フ趣旨ニ此法案ヲ改メル方ガ
宜イノデハアリマセヌカ、若クハサウ云フ
場合ニハソレハ罰セヌデモ宜イ、若クハ重
ク罰セヌデモ宜イト云フ議論ナラバ別デア
リマス、併ナガラ法ヲ運用スル上ニ於テハ
サウ云フ場合ガナイトシモ限リマセヌ、世
ノ中ガ段々色々ナコトニナッテ参リマス、

サウ云フ著名ナ人ガ色々ナコトヲヤルヤウ
ナコトガアリ、現ニ今日デモ左様ナ事ガ行
ハレテ居ルノデスカラ、ソレヲ取締ル必要
ガアルトスルナラバ、此住所氏名ダトカ云
フヤウナコトニ付テ、今少シク一段ノ注意
ヲ加ヘレバソレヲ網羅スルコトガ出來ルデ
ハアリマセヌカ、其點ニ對シテノ御所見ヲ
承リタイノデアリマス

○岩村政府委員 只今ノ御意見ハ一應御尤
ナ點モゴザイマスガ、此法規ノ立法技術ノ
方面カラ申シマシテ、一々各個人ノ表示ヲ
網羅スルコト云フコトハ非常ニ困難ナコトト
考ヘマス、例ヘバ號ハ宜シイ、或ハ號デナ
クテモ、其他色々ナ號ニ代ルベキヤウナ表
示方法ト云フモノハ随分アラウト思ヒマ
ス、サウ云フヤウナ表示方法ガアッタ場合ニ
ハ差支ガナイヤウニ此法文ヲ纏メルト云フ
コトハ非常ニ困難ナコトデハナイカト思ヒ
マス、而モ先程申シマシタ通り、其適用ヲ
受ケル方ト云フモノハ僅カナ數デスガ、一
般ノ出版法ト云フモノニ關係スル非常ナ大
多數ハ、ヤハリ氏名住所ヲ明ニシテ置クト
云フコトガ、此法案ノ取締カラ申シテモ宜
イノデハナイカト考ヘルノデアリマス、非
常ニ少イ例外ノ爲ニ、其例外ノ場合ヲ洩ラ
サナイ爲ニ此法文ヲ立法スルコト云フコトハ

餘程私ハ困難デハナイカト思ヒマス、實際
ノ運用ニ當ッテ、斯様ナ著名ナ方ノ場合
ハ、實際氏名其モノハ記載ガナクテモ當然
分ル、サウ云フ場合ハヤハリ運用ニ依ッテ
過チノナイヤウニスルコト云フコトガ、技術
トシテハ私ハ宜イノデハナイカト、率直ニ
申セバサウナルト思ヒマス

○一松委員 併ナガラ之ヲ氏名住所トダケ
書クカラサウナルノデアリマシテ、氏名住
所ガ明確デアルト認メラル、時ニハ、是ハ
ヤハリ虚偽ノ記載デハナイ、氏名住所ノア
ルモノデアルト同一ニ看做スト云フ趣旨ニ
スルコトハ、立法技術ノ上ニ於テ何モ難シ
イコトハナイデハナイデスカ、ソコ迄御考
付イテ居テ之ヲ書イタノデスカ、考ヘ付
カヌデ書イタノデスカ率直ニ御答願ヒタ
イ

○岩村政府委員 御答申シマス、出版法ト
同様ノ方法ニ依ルト云フコトヲ考ヘテ之ヲ
致シマシタ、今ノ號ヲ書イテモ宜シイト云
フヤウナコトハ、私トシテハ考ヘテ居リマ
セヌ、或ハ内務省ハ御考ニナッテ居ルカ分
リマセヌガ、私ハ立案ニ關與シタ一人トシ
テ考ヘテ居リマセヌ

○熊谷委員長 大抵分ッタンデヤナイデス
カ、アナタノ御趣旨モ分ルシ……

○一松委員 是ハ私共修正デモシナケレバナラヌト思ッテ其點ヲ明確ニシテ居ルノデ、修正セヌデ宜ケレバ修正ハシナイシ、シナケレバナルマイト思ヘバスルノデスカラ、其基本ヲ當局ニ質シテ置クノデス

○熊谷委員長 デヤモウ少し簡單ニヤッテ下サイ

○一松委員 不穩文書ト云フモノガ、成程此出版法若クハ新聞紙法ト云フコトダケニハ限ラナイデアリマセウシ、出版法ヤ新聞紙法ニハ住所氏名トアルケレドモ、是ハ兎ニ角穩密ノ間ニヤルコトデスカラ、出版法、新聞紙法ヲ濫デヤル場合デアアルノデスカラ、今私ノ言フヤウナ例ハ非常ニアラウト思フ、例ヘバ政黨ノ總裁ナドガ名前ヲ書カヌデ、何々總裁ト云フヤウナ時分ニハ、直グニ是ガ當嵌ラヌト云フコトニナル、サウ云フ場合ニハ私共ハアッタ方ガ宜イト思ヒマスガ、サウ云フコトハ非常ニ少ナイ例デアルカラシテ、法ノ運用ニ任シテ置ケバ宜シイ、法文ハソコ迄擴充シナクデモ宜シイ、斯ウ云フ御意見ニ承ッテ宜シイデスカ

○岩村政府委員 私ノ只今ノ考トシテハ、御尋ノ通りニ考ヘテ居リマス

○一松委員 質問ヲ終リマス

○熊谷委員長 服部君

○服部委員 十分デ打切りマスカラ御心配ナク、一ツ御注意ナキヤウニ我慢シテ下サイ

○熊谷委員長 五分ト云フ御約束デアッタデスガ……

○服部委員 一松君ガ五分デ、私ハ十分デス、簡單ニ申シマス、現内閣ノ成立シマスルヤ、總理大臣ハ庶政一新ヲ聲明致シテ居リマス、ソレニ邁進スベク度々御所見ヲ伺ッテ居ルノデアリマス、尙ホ憲法ノ下ニ立憲政治ノ有終ノ美ヲ成シタイト云フ御趣旨ノアル所モ、能ク諒承ヲ致シテ居リマスガ、立憲政治ノ有終ノ美ヲ成サンニハ、其前提ノ條件ト致シマシテ、ドウシテモ此言論ノ自由、居住ノ自由トカ、或ハ出版ノ自由ト云フコトヲ遺憾ナク御許シテ願ハナケレバ、立憲政治ノ美ヲ成スコトガ出來ナイコトハ、申スニ及バヌコトデアリマス、尙又内務大臣ノ御説明、御答辯ヲ承ッテ、私共意ヲ強ウ致シテ居リマシタ點ハ、言論ノ自由ハ既往ニ於テハ束縛ハ稍、アッタヤウデアリマスルケレドモ、近頃ハ大分緩和シタト云フコトノ御説モ拜聽ヲ致シマシテ、是デコソ庶政一新ノ機運ニ乗ルコトガ出來ルト、斯ウ考ヘテ居リマシタル所ガ、殆ド此言論ノ自由、出版ノ自由ト云フモノヲ痛ク制限

セントスル此法案ガ出マシテ、聊カ失望ヲ致シテ居ルヤウナ譯デアリマス、併ナガラ軍部大臣竝ニ内務大臣ノ御説明ニ依ッテ、複雜セル此社會ニ於テ、洵ニ此場合ニムヲ得ナイモノデアアル、出サズシテ濟ムナラ出シタクハナイ、斯ウ云フ御趣旨デモアリ、軍部大臣ハ更ニ軍部ノ點ハ自分モ最大ノ努力ヲ致スガ、又議員諸君ノ御協力ヲモ求ムルト云フ御趣旨デアッタヤウデ、斯ウ申サレテハ最早彼此疑ヲ申上ゲルノモ禮ヲ缺クコトト感ズルモノデアッテ、申上ゲヤウモナイコトニナッテシマヒマスルガ、此本案ノ如キ目の認定ヲ以テ罰スルノ基礎ト爲スハ甚ダ危険デアアル、屢、繰返サレテ申サレテ居リマス

ル選舉ニ於テ目的ヲ強要セラレテ、遂ニ無キ目的迄モ強要セラレテ目的アリト自供シ、ソレガ基礎トナッテ居ッタコトガ大變數多クアル、此本案ノ場合ニモヤハリ目的ヲ強要セラレルト云フ虞ナシトシナイノデ、ソコデ一段ト心配ヲスルノデアリマスカラ、本文ハ極メテ狭イ意味ニ於テ此目的ヲ制限シタイト思フノデアリマス、ソコデ目的ヲ以テスクノ文書圖書ヲ發行シ、出版シタル者ガ、第一條ニ觸レルノデアルコトハ明デアアルカラ宜シイトシテ、最初ニハ斯様ナ目的デナカッタガ、偶、出版シタルモ

ノ、或ハ演説シタル趣旨ガ、人心ヲ惑亂シ、財界ヲ攪亂スルト云フ結果ノ生ジタ場合ニハドウナルノデアリマスガ、目的ガアッタ場合ニ罰セラレルコトハ、此一條ニ依ッテ明デアリマスガ、最初ハ目的ハナカッタケレドモ、結果ニ於テ人心惑亂乃至ハ財界動搖ノ結果ヲ來シタル文書ガアルトシタナラバ、ソレハドウ云フコトニ取扱ハレルノデアルカ、時間ヲ省略スル爲ニ一纏メニ致シマス、ソレカラ第二條ニハ「前條第一項ノ事項ヲ掲載シタル文書圖書ニシテ發行ノ責任者ノ氏名」云々トアリマシテ、殆ド第一條ト同様デアアルガ、此處ニハ目的ト云フ字ガナイノデアアル、此第二條ハ目的ナクシテモ左様ナモノヲ取扱ッテ者ハト云フ、斯ウ云フコトニ了解シテ宜シイノデアリマスガ、是ガ第二條ニ對スル所ノ質問デアリマス、目的ト云フ字ガナイノデアアルガ、是ハ入ッタモノカ入ッテナイモノカ、ソレカラ今一ツ

ハ軍部大臣ニ私ノ希望致シテ居ル所ハ、軍部ニ於テ是ガ必要デアアル、軍部ハ自ラニ他ノ方面カラ之ニ對シテ關與スルコトヲ頼ルベキモノデハナイト思フ、若シ軍部内ニ於テ嚴肅ニ軍紀ガ維持セラレ、軍秩ガ擁護セラレテ居ッタル場合ニ於テハ、若干ノ

不穩文書ガアリト雖モ、動搖スルモノデハナイ、私共ハ健康上ニ於テ考ヘテ見テモ、微菌ガ澤山方々ノ空中ニ飛ンデ歩イテ居ルサウダガ、ソレニ侵サレル人ト侵サレナイ人トアル、侵サレル人ハ其身體ノ健康ヲ害シテ居ル、健康ニ足ノアル人デアル、健康ガ十分デアレバ微菌ニハ侵サレナイ、肺病ニモナラナイ、癩病ニモ罹ラナイ、傳染シナイ、斯ウ云フコトニ衛生學上ノ説明トシテ伺ッテ居ルガ、左様デアルト思ヒマス、左様ニ考ヘテ見マスルト云フト、軍部内ニ動搖ヲ來シ、軍秩ヲ紊スト云フコトハ、軍部内ニ若干ノ缺陷ガアッテ、ソレニ乗ゼラレルノデハナカラウカ、此場合トシテ此法案ハドウシテモ必要デアルト云フコトハ、之ヲ諒トシテ御察申シマス、ソレガ必要デナイト反對スル者デハナイ、是ハ諒ト致シマスガ、ソレヨリモット前ニ自ラ軍肅ヲ圖リ、自ラ軍秩ヲ擁護スルコトニ於テ遺憾ナク努力セラレルナラバ、此法文ハ臆テ無効ニ歸スル、適用スルコトガナイト云フコトニ立至ルダラウト思フノデアリマス、獨リ軍部内ニ於テノミナラズ、社會一般ニ於テモ左様ニ考ヘル、左様ナ場合ニナリマシタル時ニハ、左様ナ認メガ付イタ時ニ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ數年

來痛ク不穩文書ニ惱マサレテ此法案ヲ立案シタ、斯ウ云フコトデアルトスルナラバ、十數年前ニ此社會ノ狀態、軍部ノ狀態ガ立戻ッタ場合ニ於テハ、本法ハ是ハ廢止セラルルヤウナ御考ガアルカドウカ、其場合ニ於テハ廢止シテモ宜イト云フヤウナ御考ガアルカ、是ト最後ニ一ツ伺ッテ置キマスルガ、第一ノ質問ニ戻リマシテ、其實例ヲ一ツ申上ゲテ伺ヒマスルガ、現内閣ガ成立致シマスト、大藏大臣ハ將來ノ財政ニ對スル政策ノ聲明書ヲ出シタ、其聲明書ヲ實行セラレルカセラレナイカ、又實行スルノ可能性ガアルカ否カハ私共存ジマセヌガ、將來ノ事ヲ聲明書ヲ出シテ、一日ニ五億萬圓ト云フヤウナ、有價證券ノ價格ヲ下落セシメタ、是程財界攪亂ノ大ナルモノハナイト思ヒマス、若シ大藏大臣ニシテ財界ヲ攪亂スルノ目的ヲ以テ、斯様ナル聲明ヲセラレタル場合ニ於テハ、キッパリト之ニ當ルニ相違ナイト思ヒマス、併シ私ハ大藏大臣ガ攪亂スルノ意思ヲ以テ、斯様ナル聲明書ヲ發セラレタトハ思ヒマセヌガ、其結果ニ於テハ財界攪亂ノ大ナル實情ヲ出現シタルモノデアリマスルカラ、此場合ニハ斯ウ云フモノニ當ルカドウカ、或ハ政黨ガ將來ノ政策ヲ掲ゲル、或ハ政黨ノ總裁ガ將來ノ政策ヲ聲明シ

テ、ソレガ爲ニ若干財界ニ動搖ヲ來ス場合ガナイトモ限ラナイ、併ナガラソレハ勿論財界攪亂ノ目的ハナイノデアルガ、結果ニ於テ攪亂ノ事實ガ出來タル場合ニ於テハ、此條文ニ依ッテヤハリ糾サントスルモノカドウカ、要スルニ只今ノ大藏大臣ノ例ヲ引イタノガ第一點、第二ハ第二條、第三ハ軍部大臣ノ御意見ヲ承ハリタイ、此三ツノ點デ宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 一寸待ッテ下サイ、陸軍大臣ノ答辯ヲ願ヒマス

○寺内國務大臣 軍部ト致シマシテモ斯ノ如キ法案ハ一日モ早クナイヤウナ事態ニナルコトヲ望ムコトハ、内務大臣ガ申述ベラレタト同様デゴザイマス

○服部委員 サウシマスルト唯甲ト乙トノ間ニ宣傳シテ——自分ノ家ノ機械ヲ運轉シテ甲ト乙トノ間ニ、サウ云フ文書ガアッタ場合ニ、印刷シテヒュット運送シテ歩クダケデモイケナイ、斯ウ云フ譯デスネ、例ヘテ言ヘバ、甲ノ方ニサウ云フ原文ヲ作ッタモノガアル、ソレヲ私ガ商賣上家ニ機械ガアルヲ便宜トシテ印刷シテ、ソレヲ乙ノ所ニ移轉シタ、是ダケデモ此條文ニ引掛ルト、斯ウ云フ譯デスカ

○熊谷委員長 簡單ニ御答願ヒマス

○岩村政府委員 只今ノ御尋ノ場合ハ、甲ガ原文ヲ作ッテ、サウシテ印刷ラシテ乙ニ渡シタト云フコトハ、頒布ニナル場合デゴザイマスガ、色々……

○服部委員 甲ガ原文ヲ作ッテ机ノ上ニ置イタ、乙ガ黙ッテ持ッテ行ッテ印刷シテ、丙ノ所ニ渡シタ、ソコデ丙ガソレヲバラ撒イタ、斯ウ云フ場合デス

○岩村政府委員 此關係ハ色々甲、乙、丙ハ……

ノ間ニ故意ノアル場合、故意ノナイ場合、共犯關係ヲ説明致シマス、分ッテ御説明申上ゲマセヌト、一寸簡單ニ御答ヘスルト誤ルト思ヒマスカラ……

○服部委員 ソレ程詳シイコトヲ聽クノデハナイ、惑亂スル目的ガナクテ、唯單純ニヤツタ場合、目的ハナイ、併ナガラ甲ト丙ノ間ニ介在ハシタ、攪亂スル目的ハナカッタ、唯家ノ印刷機ヲ利用シテ印刷シテ丙ニ持ッテ行ッタ、斯ウ云フ場合デス

○岩村政府委員 ソレハ御尋ノ場合ハ目的ガ全然ナイノデゴザイマスカラ、二條ノ規定デ治安ヲ妨害スベキ事項ヲ掲載シタル文書デゴザイマス、其文書圖畫ヲ出版致シマス、二條ニ觸レマス（服部委員「目的ガナクテ」ト呼フ）目的ガナクテモ出版シ頒布致シマス、二條ノ違犯ニナル場合デハナイカト思ヒマスガ、場合ガ複雑シテ居ルヤウデゴザイマスカラ……

○服部委員 是デ以テ打切りマス、丁度十分——一分バカリ遅レマシタ

○熊谷委員長 淺沼君

○淺沼委員 モウ質問ガ盡キテ居ルノデアリマシテ、多ク申上ゲヨウトハ思ヒマセヌ、唯一點御伺ヒシタイノハ、參考資料其他ヲ戴キマシテ、又政府委員ノ答辯ヲ聽キ

マシテ、私ノ感シタ點ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、此處ニ目的ト云フ言葉ヲ使ッテ居ルノデスガ、大體ニ於テ參考資料竝ニ政府委員ノ答辯ニ依リマス、ト云フト、手段デアルヤウニ私共ハ考ヘラレルノデス、ト云フコトハ、何レニ致シマシテモ目的ハ色色ノ目的モアルデアリマセウケレドモ、不穩文書等トシテ居リマスルガ、是ハ見方ニ依ルノデアルト思フノデアリマス、現状ヲ打開シテ行カウト云フ勢力ノ中ニハ、或ハソレガ反動ト目セラレルモノデアッテモ、例ヘバ「フアッシュ」ト云フヤウナモノニ付テモ、色々議論ガアッタヤウデアリマスガ、其「フアッシュ」ノ思想ト云フモノガ非常ニ反動的デアアルニハ違ヒハナイケレドモ、今ノ現状ヲ幾分ナリトモ打開シテ行カウト云フモノハ、其中ニ發見サレルト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ現状ヲ打開シテ行カウト云フ運動ニ對スル事柄、其手段トシテ偶、斯ウ云フコトガ用ヒラレテ居ルヤウニ、私共ニハ考ヘラレルノデスガ、政府當局ノ答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、殊ニ昨日ノ萱場サンノ答辯ニ依リマス、手段ヲ目的ノヤウニ取ラレテ居ル點ガ多量ニアルヤウニ思フノデスガ……

○萱場政府委員 本法ノ提案ノ理由ト申シマスノハ、人心ヲ惑亂スル目的ヲ以チマシテ、社會一般ニ不安ヲ與ヘルト云フヤウナ結果ヲ招來スベキ文書圖畫ヲ出版シタ者ニ對シテ、取締ラウト云フ趣旨デアリマス

○淺沼委員 マア此軍秩ノコトハ私共素人デアリマシテ能ク分リマセヌガ、ドウ云フヤウナ軍秩ノ擾亂ス怪文書ガ出デ居ルカト云フコトノ參考資料ト目セラレルモノヲ、多ク見テ居リマセヌカラ、此點ヲ省イテ置キマス、併シ全體トシテ現状ヲ打開シヨウト云フ勢力ノ中ニハ、何レニ致シマシテモ今ノ現状ヲ維持シヨウトスル勢力ニ對シマシテ、何等カノ形式ニ於テ意思表示ヲシタイト云フ意思ハ、多量ニアルト思フノデアリマス、殊ニ現在ノヤウニ、昨日モ内務大臣ノ答辯ニ依リマス、今ノ世ノ中ガ行詰ッテ居ルト云フコトハ、政府當局ニ於テモ認メテ居ラレルヤウデアリマス、而モ其行詰ッテ居リマス所ノ世ノ中ヲ打開スル爲ニ、總理大臣以下現政府ノ執ラレテ居ル態度ハ、自由主義ヲ基調ト致シマシテ、統制主義ヲ採用シテ、自由ト統制トヲ調和シナガラ之ヲ行ッテ行キタイト云フノガ、政府當局ノ意向ノヤウニ考ヘルノデアリマス、併シソレハ現政府ノ考ヘ方デアッテ國民全體ハ果シ

テ此原則ニ依ッテ、今ノ世ノ中ノ行詰リガ打開出來ルカドウカト云フコトニ付キマシテハ、少クとも疑問ヲ持ッテ居ルト思フノデアリマス、私共ノ立場カラ申上ゲマスナラバ、自由ト統制ノ調和ノミニ依ッテ、サウ云フヤウナ原則ノ上ニ政治ヲ行フトシテモ、中々今ノ此行詰ッテ居ル日本ノ打開ハ出來ナイト云フ考方ヲ持ッテ居リマス、ト云フコトニナリマス、自然此原則ニ從ッテ不穩文書ハ出ル、取締ヲシテモ出ル、サウスルト現状ヲ打開シヨウトスル一切ノ勢力ハ、之ニ依ッテ口ヲ緘セラレテシマッテ、結果ニ於テハ不穩文書等ト云フコトニナッテ居リマスガ、或ハ政府ノ反對黨彈壓ノ一ツノ道具ニナリハシナイカト云フコトヲ、私共考ヘルノデアリマスガ、其點ニ對スル軍部大臣、竝ニ當局ノ御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○寺内國務大臣 ソレ等ニ付キマシテハ、モウ内務大臣ガ既ニ詳細ニ述べ盡サレテ居ルト思ッテ居リマス

○淺沼委員 イヤ、其點ハ盡サレテ居ルニハ違ヒナイケレドモ、内務大臣ノ基調トスル所ハ、自由主義ヲ基調トシテ統制主義ヲ採用スル、自由ト統制ノ調和ノ下ニヤラウトスル、併シ是ハ國民全體ノ意思デハアリマセヌ、今ノ政府ガ考ヘルノデス、吾々ノ

心持ノ中ニハ、單ニ自由ト統制ト云フ抽象的ナコトニ依ッテ、今ノ行詰レル日本ノ資本主義ヲ打開シテ、國民全體ニ生活ノ安定ヲ與ヘルト云フコトハ困難デアルト、私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而モ此困難デア

ルコトヲ考ヘテ居テ、何カ言ハウトスルト、其目的ニ嵌マルト云フヤウナコトデヤラレテシマフト、人民ノ權利ガ非常ニ侵害サレ

書デアアルカドウカト云フコトノ認定ノ問題ニナルダラウト思ヒマス、之ニ付キマシテハ、御手許ニ治安紊亂ニ對スル判例ヲ差上

トニナッテ、ヤッタ事ソレ自體ガ却テ反撥勢カトナッテ現レテ來ルト云フコトヲ能ク御

下ノコトデモアルカト思フノデアリマスガ、一ツ私共ハ吾々ニ對スル實例ヲ申上ゲテ、警保局長ノ意思ヲ伺ヒタイト思フノデアリ

此法案ノ目的ト致シマスノハ、急激ニ國憲ヲ變革スル、或ハ秩序ヲ紊亂スルト云フコ

今日日本ノ世ノ中ニ於テ病氣ガ大分アルト云フコトハ分ル、併シ身體ニ譬ヘテ言ヘ

力ガ現レテ來ルト云フコトダケハ、御記憶ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、是デ私ノ

マスルガ、此議會ニ臨ム前ニ、私共ハ會合ヲ持チマシタ、サウシテ議會ニ對スル吾々ノ態度ヲ決定シヨウトシタノデアリマス、

私共ノ考ヘテ居ルノハソレダケデアリマス、以上デ御諒承ヲ願ヒマス

ナ病氣デハナイト、私共考ヘテ居リマス、其治療ヲ自由ト統制ノ調和ニ於テシヨウト

レマシタガ如ク、言論ノ自由、文書、人權ニモ關係ノ多イ法案デアリマスカラ、是ハ

リマシテハ、言論一切ヲヤッデハナラヌ、議題ヲ出スコトハ宜イケレドモ喋ベルコト

ト云フ言葉ガ入ッデ居ル限リニ於テハ、此示唆ト云フコトガ、出ス者自身カラ言ヘバ、

大體其病氣ノ或ル部分ハ癒サレルデアラウト云フ御考ノ下ニヤラレタト思フノデアリ

第三條ノ如キハ、私ノ間違ヒカモ知レマセヌガ、警保局長ノ御説明ノ中ニ、斯ウ云フ

ソレガ奈邊ニアルカト云フコトハ能ク分ル

ヒマス

ト云フモノヲ結果ニ於テ抑壓スルヤウナコ

コトガアッタヤウニ思フノデアリマス、

ソレハ怪文書ヲ取締ルト云フト、第三條ノヤウナ必要ガ起テ來ルノデアッテ、現在ニ於テハ斯ル事態ト云フモノハ、サウ多クナイト云フヤウナ意味ニ、私ハ承タノデアリマスガ、左様了解シテ宜シウゴザイマスカ

○**萱場政府委員** 第三條ニ付キマシテハ大體御話ノ通りデアリマス、現在全然之ニ對シテ取締ル必要ガナイトハ言ヘマセヌガ、將來ニ於テ現在ヨリ多ク其必要ガアリ得ルドラウト思ヒマス

○**一宮委員** ソレナラバ第三條ノ流言蜚言ノ取締ト云フモノハ、怪文書ヲ若シ取締ルヤウナコトニナルト云フト、斯ル事態ガ起ルカモ知レナイ、其場合ヲ想像シテ、斯ウ云フ規定ヲ置カナケレバナラヌト云フ、將來ニ懸ッテ居ル心配カラシテ、所謂杞憂カラ起ッタ所ノ規定デアルト云フコトニ了解シテ差支アリマセヌデスカ

○**萱場政府委員** 是ハ私カラ諄々シク申上ゲルノモ如何デアリマスガ、私達ガ立案スル場合ノ氣持ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、殊ニ此取締法規ノ立案ニ付キマシテハ、過去、現在ノ事實ニ基キマシテ、而シテ將來ノ或ル程度ノ見透シト云フコトヲ、ドウシテモ考慮ニ入レテ立案シナクチ

ヤナラヌノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、第三條ヲ設ケタノデアリマス

○**一宮委員** 是モ一ツ承ッテ置キタイト思フノデアリマスガ、第一條ノ規定ノ目的犯ヲ罰スルト云フコトニ付テハ、色々ナル論議ガ盡サレマシテ、斯ル法ノ適用ト云フモノガ、非常ニ危險デアルト云フヤウナ論議ガ盡サレタノデアリマスガ、第一條ニ該當スルヤウナ事實ガ過去ニ於キマシテ、新聞紙法、或ハ出版法ニ依ル出版ニ依ッテ、斯ル條項ニ該當スルモノガアッタノデアルケレドモ、斯ル條文ガナカッタ爲ニ、之ヲ取締ルコトガ出來ナカッタト云フヤウナ事實ガアリマスカドウデアリマスカ

○**萱場政府委員** ソレモ申上ゲマシタガ、斯ル取締法規ガアッタナラバ、十分取締ノ目的ヲ達シ得タデアラウト思ハレルノデアリマス、現在ノ所デハ御承知ノ通り新聞紙法

或ハ出版法ノ規定ニ依ル外ナイノデアリマシテ、斯ノ如キ惡性ノ目的ヲ以テスル治安ヲ妨害スベキ文書圖書デアッテモ、其危險性ニ相當スルダケノ、國家ノ刑罰ト云フモノガ缺ケテ居ッタト云フコトハ、ハッキリ申上ゲテ宜イト思ヒマス

○**一宮委員** サウ云フヤウナ事例ガ過去、

現在ニ於テ相當起ッタノデアリマスカ、其事實ヲ承リタイト思ヒマス

○**萱場政府委員** 是ハ事件トシマシテ、此前申上ゲマシタ通り、非常ニ僅カデ——マダ法律ガナイノデアリマスカラシテ、此法律ガアッタナラバ、此法律ノ適用ガアッタデアラウト思ハレルモノガ、十二三種アルノデハナイカト云フコトヲ、此前モ申上ゲマシタ、ハッキリ該當スルト云フコトハ、申上ゲ兼ネルカト思ヒマスガ、大體ハ當ルヤウデアリマス、併シ餘リ數ハナイト云フコトハ事實デアリマス

○**一宮委員** 先達テ承ッタノハ、所謂不穩文書ト考ヘラルベキモノガアルト云フヤウニ、私ハ承ッタノデアリマシテ、不穩文書以外ノ新聞紙法或ハ出版法ニ依ッテ出版サレ、或ハ新聞紙ニ掲載サレ、通信ニ出テ居ルヤウナモノデ、爾ク考ヘラレル事實ガ過去ニ於デアリマシタカ、トウカト云フコトヲ承ッテ居ルノデス

○**萱場政府委員** 私ノ言葉ガ足ラナカッタカモ知レナイノデアリマスガ、不穩文書ト概括シテ私共ノ申上ゲマスノハ……

○**一宮委員** イヤ不穩文書デナク、私ノ言フノハ、出版法及ビ新聞紙法ニ依ッテ出版

サレルモノデアッテ、所謂怪文書ト云フモノ以外ニアルカト云フノデス

○**萱場政府委員** 其事例ハ極メテ少數デアリマスガ、當嵌ルドラウト思フノガゴザイマス

○**一宮委員** 所謂出版法、新聞紙法ニ該當セザル、所謂怪文書ノ斯ル事項ニ當嵌ルデアラウト思ハレル事件ハ、少クナイト思フノデアリマスガ、新聞紙法、出版法ニ依ッテ出版セラレル文書圖書ニ於テ、斯ル法律ガ若シアッタナラバ、ソレニ當ルカモ知レナイト云フ文書圖書ハ非常ニ少イノデハナイカト私思フノデアリマスガ、非常ニ少イケレドモ、ヤハリ斯ル法案デヲ作ッテ置カナケレバナラヌト云フ程ニ、若シ不穩文書ヲ取締ルナラバ、斯ル事例ガ發生スルカモ知レナイト云フ虞ヲ、當局ハ持ッテ居ラレルノデアリマスガ、其點ヲ承リタイ

○**萱場政府委員** サウ云フ氣持デ第一條第一項ヲ設ケタノデアリマス

○**一宮委員** 私ハ是デ宜シウゴザイマス

○**田万委員** 私ハ昨日總理大臣ニ對シテ質問ヲ保留シデアリマスガ、ドウ云フコトニナリマスカ

○齋藤委員長代理 總理大臣ハ此委員會ニ

御見エニナル機會ガアラウト思ヒマス、ソレ迄御待チ下サイ、サウシテ此不穩文書ノ方ノ質問ハ一應終リマシタカラ、之ヲ一時中止致シマシテ、アナタノ質問ハ保留致シマス

○齋藤委員長代理 直チニ總動員祕密保護法案ノ審議ニ入りタイト思ヒマス

〔齋藤委員長代理退席、川崎委員長代理著席〕

○川崎委員長代理 ソレデハ總動員祕密保護法案ノ審議ニ入りマス

○齋藤委員 私ハ此條文ニ付テ御尋ヲ致ス前ニ、一般的ノ事ニ付キマシテ一ツ二ツ御尋ヲ致シタイト思ヒマス、成ベク簡單ニ致シマスカラ、政府委員モドウゾ簡單明瞭ニ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、其一般的ノ事柄ハ、第一ハ此法案ガ實施セラレマシタ結果、外國人ニ關スル關係デアリマス、ソレヲ御尋致スニ付キマシテ先ヅ最初ニ伺ッテ置キタイノハ、一箇年外國人ガ我國ニ何人ホド來朝致シマスカ、觀光局アタリデハ御調ニナッテ居ルコトガアルダラウト思ヒマスケレドモ、御係ノ方デモ亦御調ニナッテ居ルト思ヒマスカラ、之ヲ伺ヒタイ、ソレカラ又ソレ等ノ外國人ガ國內デ幾何ノ

金ヲ消費スルヤウナコトニナッテ居リマスカ、是モ御調ガアラウト思ヒマスカラ、先ヅ之ヲ一ツ伺ヒマス

○松井政府委員 只今ノ御質問ハ後刻調ベテ早速差上ゲマス——此際一寸先程砂田サン及ビ犬養サンカラ御話ノアッタコトニ付キマシテ、御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマスカ……

○齋藤委員 委員長、私ハ發言ヲ許サレテ居リマスカラ……

○松井政府委員 ソレデハ……

○齋藤委員 第二ニ伺ヒタイノハ、過去五箇年程ノ間外國人ガ要塞地帶法、或ハ軍機保護法等ニ依ッテ取調ヲ受ケタ員數デス、ソレト裁判ニナリマシテ處罰サレタ員數デアリマス

○川崎委員長代理 政府ノ御答辯ハナイノデスカ

○萱場政府委員 昭和十年中ノ調デアリマスガ、外國人デ本邦ニ渡來シタ者ガ、合計デ四萬二千五百八十二人、ソレカラ出國シタ者、日本カラ出テ行ッタ者ガ三萬一千八百三十四人、サウ云フコトニナッテ居リマス

○梅津政府委員 最近ノ外國人ノ要塞地帶法違反事件ノ數ヲ申上ゲマス、總數ト致シ

マシテ大正十五年ニハ二十四、昭和二年ニハ四十三バカリアリマス、是ハ統計表デ見テ居ルノデ、一二ノ所ハ或ハ數ニ差ガアルカモ知レマセヌ、圖表デ見テ居リマスカラ……昭和三年ニハ六十六、昭和四年ニハ四十四、昭和五年ガ四十六、昭和六年三十四、昭和七年ハ稍、少クナッテ十九、昭和八年ガ三十、昭和九年ガ五十九、昭和十年ガ五十四、是ハ大體ノ數ト御承知ヲ願ヒマス、一二位ノ差ハアルカモ知レマセヌ

○齋藤委員 只今御尋致シマシタ事柄ニ付キマシテ、私はハ裁判ニナッタ件數ダラウト思フノデスガ、取調ノアッタ件數ハ分リマセヌデスカ

○梅津政府委員 最近外人ノ軍情調査ニ關スル件ハ、相當多數ニ上ッテ居リマシテ、昭和九年ニ四百七件、昭和十年ニ六百二十一件、其他軍情以外ノ國情調査ハ昭和九年ニ四百四十四件、昭和十年ニ五百三十五件

○齋藤委員 大體承知致シタノデアリマス、私ハ本法ハ時局ニ鑑ミマシテ必要ナル法制デアリマスカラ、其根本ニハ贊意ヲ表スル者デアリマス、併ナガラ此法ガ實施セラレマシテ、惡イ所ノ副作用ガ起リハセヌカ、或ハ外國人等ニ對シテ、殊ニ觀光客ノ如キハ相當歡迎ヲシテ待遇ヲシテヤラナケ

レバイカヌモノト思ヒマス、而モ彼等ノ國內デ消費スル所ノ金錢ハ、國際貸借ノ一助ニモナルノデアリマスカラシテ、此點カラ考ヘマシテモ、彼等ニ惡感情ヲ懷カスヤウナコトハ、是ハ大ニ避ケナケレバナラヌト存ジマス、サウ云フ點ニ付テ、是ハ實ハ外務省ノ政府委員ニデモ御尋ヲスル方ガ適當ト思ヒマスケレドモ、何カ御用意ガアルノデアリマスカ、其邊ニ對スル御所見ヲ承リタイ

○松井政府委員 只今齋藤サンノ御意見ハ全然私共同感デゴザイマシテ、其意味ニ於キマシテ、此特別ノ指定ヲ致サウト云フノガ、實ハ其意味ニナッテ居リマス、今日ハ其指定ガゴザイマセヌモノデスカラ、ドノ程度マデガサウ云ッタ軍機乃至軍事上ノ祕密等ニ觸レルノデアラウカト云フコトデ、範圍ガ段々擴大サレテ行クヤウナ惧ガアリマス、今度ハ此指定ヲ非常ニ嚴格ニ致ス積リデアルノデアリマス、此點ニ付キマシテ非常ニ留意ヲ致ス積リデアルノデアリマス、其總計ニ於キマシテモ此指定サレマスモノハ、大體一番大キイモノガ工場デゴザイマスガ、其一番大キイ殆ド大多數ガ工場デアルノデアリマスケレドモ、其工場ニ於キマシテモ今日大體八萬ヲ超エテ居リマス、

工場ノ中デ僅ニ政府ニ於キマシテ考究シテ居リマスモ、三百ニ充タナイ狀況デアリマス、而モ其工場ニ於キマシテモ、有ニル工場ノ全部ヲ指定スルト云フヤウナコトハアリマセヌ、先ヅソレノ戰時ノ生産能力デアリマストカ、或ハ戰時ニハ如何ニ轉換スルカト云フヤウナ能力ヲ、具體的ニ指定致スコトニナッテ居リマスモデスカラ、自然サウ云フ點ニ付キマシテハ、地方ノ實際ノ取締ノ任ニ當ル人々ニ於キマシテモ、具體的ニナッテ參リマスルモノデスカラ、誤解、或ハ又過大ノ心配モナイコトニナラウト思ヒマス、寧ロ此法律ノ執行ニ依ッテ、御説ノ通りニ進メラレテ行クコトヲ希望シテ居ル譯デアリマス、

○齋藤委員 御答辯ノ趣ハ了承致シマシタ、尙此點ニ付キマシテハ外務省等ノ所見等モ私承ッテ見タイト思フノデアリマス、外務省ノ政府委員ガ御見エニナッテ居リマセヌカラ、此點ダケ保留シテ置キマス、一般的ナコトデ第二ニ承リタイコトハ、此法ガ施行セラレマシタ結果、商工業、國內ノ産業ニ打撃ヲ與ヘヤセヌカ、或ハ進歩發達ヲ害スルヤウナコトハナイカドウカ、其點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレヲ伺ヒマシテ、尙ホ此法律ガ行ハレマシタ結果、

直接商工業者ニ損害ヲ與ヘルコトハナイカドウカ、ソレハ本法ノ第四條——是ハ命令モ御内示ニナリマシタガ、本法ノ第四條ノ規定ニ依リマシテモ「國家總動員上ノ秘密保護」爲必要ナル措置ヲ爲スベシト云フコトニナッテ居リマスカラシテ、此指定ヲ受ケマシタ商工業者ハ、相當ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌト思フノデアリマス

〔川崎委員長代理退席、委員長著席〕

此直接ノ損害ニ付テ、ドウ云フ御考ニナッテ居リマスカ、或ハ損害ガアレバ國家ガ之ヲ補償シテヤルトカ、其點ニ付テドウ云フ御考ニナッテ居リマスカ

○松井政府委員 私カラ御答ヲ致シマス、直接ニ損害ヲ與ヘマスヤウナ秘密保護ノ措置ハ、今日ニ於キマシテハ豫想致シテ居リマセヌノデゴザイマス、先程御手許ニ御參考ノ爲ニ差上ゲマシタ書類ニ付テモ御覽ノヤウニ、總動員機密ノ管理規則ト云フモノヲ作成致シマシテ、ソレニ基イテ特別ナル、例ヘバ總動員計畫ト云ッタヤウナ特殊ノコトデアリマスカ、ソレ等ノ管理ニ付キマシテ、特別ノ注意ヲ致スコト、或ハ其觀覽人ノ待遇ニ付キマシテハ、特別ナル約定ヲスルト云フヤウナコトガ、其主ナルモノデアリマシテ、之ニ依ッテ直接打撃ヲ與ヘル

ト云フヤウナコトハ無イノハ勿論、直接特別ノ經費ヲ必要トスルヤウナコトモ、殆ド無イト思ッテ居リマスカラ、今日ニ於キマシテハ其特別ナル賠償ト云フコトヲ、豫定致シテ居リマセヌ、萬々一サウ言ッタ經費ヲ必要トスルト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、是ハ勿論補償ヲ致サナケレバナラヌコト、考ヘテ居リマス、併ナガラ今日デハサウ云フ補償ヲ必要トスルヤウナ行爲ヲ命ズルト云フヤウナコトハナイ積リデ居リマス

○齋藤委員 商工業者ガ此法ノ第二條ノ命令ヲ受ケマシテ、其命令ガ茲ニ例示サレテ居リマスガ、第一ハ「總動員機密圖書ノ作製若ハ複製ヲ爲シ又ハ總動員機密圖書物件ノ送付、若ハ搬出ヲ爲ストキハ、秘密保護上適當ノ方法ニ依ルコト」此秘密保護上適當ノ方法ニ依ルコト、云フコンナ事ハ、是ハ色々具體的ナ場合ガ起ッテ來ヨウト思フノデスカ、之ニハドウシテモ命令ヲ受ケタル者ガ、相當ナル物質上ノ犧牲ヲ拂ハナケレバナラヌノデヤナイカト思フノデスカ、ドウデアリマスカ、尙ホ此命令條項ノ第二モ、第三モ大體同様デアリマス、適當ノ處置ヲ執ルコトト、斯ウナッテ居リマスカラ、只今政府委員ノ答辯ガ、損害ハナイト

云フ御話デアリマシタガ、ドウモ損害ハ發生スルノデヤナイカト、私ハ想像サレマスカ、此點重ネテ御尋致シマス

○松井政府委員 實ハ今日ニ於キマシテモ、軍需品製造等ニ付キマシテハ、相當多數ノ秘密ヲ希望シテ居ル工場ガゴザイマスノデ、ソレ等ノ工場ニ付キマシテハ、皆ソレゾレ管理規則ト云ッタヤウナモノガ現實ニモ數多ク設ケラレテ居ルノガ實際ノ實情デアリマス、ソナ狀況デアリマス際ニ、今日、其中カラ撰バレタ特別ノモノガ、今現實行ハレテ居リマスコト、違ハナイコトヲ致スダケデアリマス、之ヲ要スルニ外國人ガ直接又ハ——サウ云フコトガアルベキデハナイト思ヒマスガ、ソレニ買ハセルト云フヤウナ者ノ所爲ヲ取締ラウトスルダケデアリマスモノデスカラ、工場等ニ求メマスコト、致シマシテハ、今日求メテ居リマスコト、變ッタクコトヲ特段ニ求メル、法律ニ基イテ求メルト云フコトハ、今日ノモノ、中カラ撰バレタ寧ロ少イモノガ、先程申シマシタ二百幾十ト云フモノガ、今日候補ニ上ッテ居ルダケデアリマスガ、其中カラ幾ラカ指定委員會ニ掛ケラレテ決定致シマスカハ、相當考慮ヲ必要トスル問題デアリマスカ、サウ云フ情勢デアリマスカラ、サウ

特別ニ、紙一枚デモ經費ヲ要ルト云フヤウ
ナコトガアリマスレバ、是ハ問題デアリマ
スガ、特段ノ經費ヲ必要トスルコトガナイ
ノデアラウト、斯ウ考ヘテ居リマス

○齋藤委員 ドウモ此點ハ具體的ノ此指定
セラル、場所ノヤウナコトヲ御聽キセヌ
ト、ドウモ判斷ガ付カヌデアリマス、ド
ンナ方法デドンナ處置ヲ執ラナケレバナラ
ヌカ、適當ナ處置ト云フモノハ、ドウ云フ
方法デアルカト云フコトガ分ラヌト、ドウ
モ吾々ハチヨット判斷ガ致シ兼ネルノデア
リマス、是ハ此程度ニ致シマシテ、此字句
ノ點ニ付テ一般的ノ御尋ヲ致シタイト思ヒ
マス、ソレハ、ドンナ工場デモ、自分ノ所
デ生産スル其生産品ガ斯ウ云フ能力ノア
ルモノダ、斯ウ云フ最上ノ能力ガアルノダ、
ソレカラ又其生産ノ數量ニ於キマシテモ、
是程ノ多量ノ生産量ガアルノダ、何時デモ
オ前等ノ需要ニ應ズルコトガ出來ルノダ、
斯ウ云フコトハ、是ハ商賣ノ方法ト致シマ
シテ、寧ろ是ハ宣傳ヲセナケレバナラヌヤ
ウナ立場ニアリハセヌカト思フノデアリマ
ス、サウ云フ立場ニアル者ガ、此保護法ニ
依ッテ秘密ヲ保ツ所ノ義務ヲ負ハサレルノ
デアリマスカラ、是ハ一般的ニサウ云フ場
合ニ、ヤハリ損害ガ起リハセヌカ、斯ウ云

フコトヲ想像サレマスガ、此點ニ付テ御所
見ヲ承リタイ

○松井政府委員 平時デモサウ云ッタ工場
ノ能力等ニ付キマシテハ、少シモ是ハ問題
ニ致シテ居リマセヌ、例ヘバ染料會社ニ對
シマシテ、或ル爆藥ノ製造能力ハ幾ラアル
カ、斯ウ云フヤウナコトハ平時經濟ト致シ
マシテ、少シモ必要ノナイコトデアラウト
思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ、例
ヘバ外國人デアリマストカ、或ハ外國人ノ
手先ニナッタリシタヤウナ者ガ、サウ云ッタ
戰時ノ轉換能力ト云フヤウナモノヲ調べ
ト云フヤウナコトヲ、此法案デ取締ラウト
スルノデアリマス、サウ云フモノガ指定サ
レルモノデアリマシテ、自分ノ所デ斯ノ如
キ良キ物ヲ如何ニ生産スルトカ、其能力ガ
アルトカト云フヤウナコトニ付キマシテ
ハ、少シモ此法ニ觸レル所ガナイ筈デアリ
マス

○齋藤委員 一般的ノ應答ハ此程度ニ致シ
マシテ、次ニ條文ニ付テ御尋ヲ致シマス、
大體條文ガ簡單デアリマシテ、此御配付ニ
ナッタ外國ノ立法例ナドヲ見マス、皆詳
細ニ書イテアルノデアリマス、所ガ本法
ハ、殊ニ第二條ノ如キ漠然トシテ居リマシ
テ、中々吾々ニハ了解シ難イ、殊ニ此第四

條、第六條、第七條等ハ命令ノ定ムル所ニ
依ルトアリマス、是ハ只今其命令ノ大綱、
要項ガ御配付ニナリマシタガ、私ハマダ熟
讀スル暇ヲ持ッテ居リマセヌガ、或ハ之ニ
大要ガ書カレテ居ルノデアラウト思ヒマス
ケレドモ、ソレニ致シマシテモ、大部分ハ
命令ニ譲ラレテ居ル、命令ガ本體ニナッテ、
法ノ方ハ所謂法三章デアッテ、窺フコトガ出
來ヌヤウナコトニ私ハ思フノデアリマス、
マア區域ノ方ハ公示サレマスカラ、是ハ宜
イノデアリマスケレドモ、此第二條ノ此指

定ノ如キハ、是ハ公表サレヌモノデアリマ
スカラシテ、何人ニモ分ラヌト云フコトニ
ナル、吾々モ——此審議ヲスル吾々議員ク
ライニハ、大體ノ事ヲ御示シニナラヌト、
吾々一向分ラヌノデアリマシテ、闇ノ中ニ
居ルヤウナ心地ガ致シマシテ、内容ガハッ
キリセヌノデアリマス、デマア命令條項ニ
付キマシテ、御配付ニナリマシタケレド
モ、是等ハ詳細ニ御説明願ハヌトイカヌト
思ヒマス、デ第一條ノ區域ハ指定サレルコ
トニナッテ、公示サレルコトニナッテ居リマ
ス、此區域ハ只今工場ト御話ニナリマシタ
カラ、工場ダラウト思ヒマスガ、是ハ何カ
工場ノ種類ヲ指定サレルノデアリマスカ、
或ハ具體的ノ、或ハ三菱ノ工場トカ、或ハ

東京驛トカ——東京驛ハ工場デハアリマセ
ヌガ、サウ云フ具體的ノモノヲ指定サレル
ノデスカ、抽象的ノモノヲ指定サレルノデ
アリマスカ

○松井政府委員 只今申上ゲタノハ、或ハ
徹底ヲ缺イタカト存ジマスガ、工場等ノ關
係ハ、第二條ニ規定サレテ居リマス、總動
員機密ノ事項デアリマス、先程御尋ノゴザ
イマシタノハ、主トシテ其問題デアッタト
思ヒマス、第一條ノ地域ノ關係ハ別ニ工場
トカ何トカ申シマセヌノデ、特別ナ秘密ヲ
要スルヤウナ土地、此土地モ實ハソシナニ
澤山ゴザイマセヌデ、今問題ニナッテ居リ
マスノガ二十幾ツデアリマシテ、差當リソ
レ以上超エルコトガアリマセヌ、サウシテ
其中ニ於キマシテモ、又此秘密保護委員會
ニ於キマシテ、十分ソレ／＼ノ朝野ノ識者
ノ議ニ諮ッテ決定ヲ致スコトデアリマスカ
ラ、ソレカラ減ルコトハアリマシテモ増ス
コトハナイノデアリマス、工場ノコトヲ申
シマシタノハ、第二條ノ總動員機密ニナリ
マスモノノ一番ノ大部分ノモノガ工場デア
リマシテ、其工場ニ付キマシテ先程申シマ
シタヤウナ狀況デアリマス、ソレカラ先程
御尋ノ點ノ命令ノ事項ニ付キマシテハ、外
國ノ立法等ニ付キマシテハ、詳細ト云フヤ

ウナ御話デゴザイマシタガ、差上ゲマシタ書類ニハ、成程詳細ニ色々ノ事項ニ互ツテ居リマス、併ナガラ其取締ルベキ地區ノ對象ト致シマシテハ、何處ノ國ノ立法ト致シマシテモ、最近ノモノヲ御目ニ掛ケマシタモノニ依リマスレバ、皆國家ノ秘密デアリマス、或ハ經濟動員ノ内容ニ付テト云フヤウナ、廣汎ナ抽象的ナ規定ニナツテ居リマスノデ、其他ノ點ニ付キマシテ色々ナ事例ガ掲ゲラレテ居リマシテモ、實ハ私共カラ見マスと云フト、非常ニ明確デナイ規定ダト考ヘルノデアリマス、其點ニ鑑ミマシテ此法案ニ於キマシテハ只今モ御示シシナッタヤウニ、區域ニ付キマシテハ勿論明瞭ニ公示ヲ致シマス、公示ニ付キマシテモ、尙ホ特別ニ、單ニ官報ニ公示スルバカリデナクシテ、尙ホ其附近ニ於キマシテハ、周密ナ詳細ナ出來得ル限リノ公示方法ヲ採ル積リデゴザイマス、ソレカラ總動員機密ニ付キマシテモ、公示セラルベキモノヲ先ヅ公示スルノデアリマシテ、公示シ得ルモノニ付キマシテモ、公示シ得ナイモノニ付キマシテモ、必ズ之ヲ當該秘密保護ノ爲ニ必要ナル措置ヲ爲サシムルヲ相當ト認ムル場合ハ、通知ヲ致スノデアリマス、通知ヲ受ケナイ限り

ハ、是ハ總動員機密ト致シマシテモ、範圍ヲ推定スルコトハ出來ナイノデアリマス、是ハ必ズドノ場合ニ於キマシテモ、總動員機密ヲ知ツテ——總動員機密タルコトヲ知ツテ、其内容ヲ推知スルトカ、或ハ探知シヨウトカト云フコトガ問題ニナツテ居ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、極メテ清澄ナ、明瞭ナ觀念ヲ採リ入レテ居ル積リナノデアリマス、ソレカラ命令ノ點ニ付キマシテモ、只今御話ガゴザイマシタガ、第六條、第七條等ハ成程命令ト云フ字ガゴザイマスガ、是ハ此命令ニ依ツテ或事ガ加フテ行クト云フノデヤゴザイマセヌ、最大限度ガ此處ニ規定致サレテアルノデアリマス、命令ハ最大限度、最モ廣イ範圍ノ事ガ法ニ規定サレテ居ルノデアリマス、命令デ成ルベクソレヲ除去シテ、解除シテ行ク、ソレヲ少クシテ行クト云フコトヲ、出來得ル限リ必要ノ限度ニ之ヲ止メテ、サウシテ不必要ナ危險ヲ、少クモ危險ノナイヤウニト云フコトニ命令ガナツテ居ルノデアリマシテ、命令ト致シマシテモ其點ニ付テ唯一點アリト致シマスルナラバ、ソレハ一番當初ニ御尋ニナリマシタ第四條ノ命令、是ハ命令ノ定ムル所ニ依リマシテ、積極的ニ必要ナ措置ヲ講ゼシムル場合ガアリマス、是ハ併シ

此法規ト致シマシテハ、比較的取締的ノ關係デゴザイマシテ、之ニ對スル罰則ハ五百圓ト云フコトヲ、最高限度ニ致シテ居リマス、極メテ普通ノ取締ト致シマシテ、極メテ例ノ多イコトデアラウト思フノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテモ、先程御目ニ掛ケマシタ此勅令ニ依リマシテ、必ズソレハ總動員機密管理規則ト云フモノヲ作りマシテ、ソレガ物ニ依リマシテ色々其具體的ニ指定ハ致シマススケレドモ、色々ナ範圍ニ互リマスモノデスカラ、ソコデ法律ニ於テ、ドウ云フ管理ヲシタラ宜イカト云フコトハ一々書ケマセヌ、ソコデ致シ方ナイモノデスカラ、其實際ノ管理者ニ對シマシテ、總動員機密管理規則ト云フモノヲ作ラセマシテ、ソレヲ地方長官ガ認可スル、認メル、ソコデチャント兩方ノ何ヲドノ程度ニ管理シタラ宜イカト云フコトヲ、特定スル譯デアリマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテモ、十分考慮ガ拂ハレテ居ルノデアリマシテ、今日曖昧ノヤウナ關係ガ、之ニ依ツテ極メテ寧ロ明瞭ニナルト云フコトヲ期待致シテ居ルノデアリマス

○齋藤委員 此第一條ノ區域ノ指定ハ土地デアルト云フコトガ是デ分リマシタ、ソコデ是ハ公示サレルノデアリマスカラ、公示サレル迄ニハ此總動員秘密保護委員會ノ議ニ付セラレルノハ、本法ノ規定スル通りデアリマス、サウ云フコトデアリマススケレドモ、二十四箇所ノ地域ガ指定サレルト云フナラバ、是ハ委員會ニ掛ケルコトノ出來ルヤウナ、結局ハ公示サレルノデアリマスカラ、此二十四箇所ノ候補地ト云フモノハ、ドンナ所デアアルカト云フコトヲ、議會デ御示シニナツデモ差支ハナカラウト思フ、斯ウ云フコトヲ議員ニ知ラサナイデ、之ヲ審議セヨト云フコトヲ仰セラレルノハ、私ハ一寸無理ダト思フノデアリマスガ、此點ハドウ御考ヘニナリマスカ

○松井政府委員 是ハマダ御説ニモアリマシタヤウニ、色々軍ノ乃至廣義ノ國防ノ事情モゴザイマセウシ、又社會狀態、文化ノ進展トカ、先程申述ベマシタ國際關係ト云ツタヤウナコトヲ、廣ク全般ノ利害關係ヲ考慮致シマシテ、サウシテ決定致サナケレバナラスコトデアリマスモノデスカラ、今日ノ事情ト致シマシテ、二十幾ツノ例モゴザイマスガ、最初ニ決定致シマシタモノガ幾ツニナリマスカタ云フコトハ、ソレヨリハ減ルコトハ極マツテ居ルト思フノデアリマスガ、明確ニハ申サレナイ狀況デアアルノデアリマス、併ナガラ大體今日恐ラクハ其候

補ニナルダラウト思ヒマス所ハ、例ヘバ室
蘭デアリマスとか、或ハ徳山デアリマスと
カ、或ハ臺灣ノ南ノ方ノ鳳山デアリマスと
カ、ソシテヤウナ所ガ、候補ニナラウト

思ッテ居リマス、サウ致シマシテ尙ホ此指
定ヲ致シマシテモ、其最大限度ノ幅ガ、第
六條ニ制限ノ幅ガ書イテゴザイマスケレド
モ、其多クハ空中撮影ノ制限ガ其重大ナモ
ノデゴザイマシテ、其空中撮影等ニ付キマ
シテモ、亦唯荒ッポイ空中撮影ト云フコト
デナイヤウニ、成ベク其影響ヲ一般ニハ與
ヘナイデ済ムヤウナ方法ヲ採リタイト、斯
ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○齋藤委員 此區域ハ今二三箇所サレマ
シタケレドモ、是ハ私共全部同ッテ見タイ
ト思フノデス、若夫レ公開ノ席デ同フコト
ガ出来ナケレバ、秘密會ニデモ何デモシテ
伺ヒタイト思ヒマス、マダドウモ私ハ當局
ガドウ云フコトヲ秘密ニサレルカ、多少疑
問ガアリマス、ソレハ今回御配付ニナリマ
シタ書類中ニモ、總動員秘密保護委員會綱
領ト云フモノヲ配付ニナッテ、之ニ「秘」ノ
刻印ガ打タレアル、是ハ何處ニ秘ノ必要
ガアルカ、私ハドウモ之ヲ見マシテ了解ニ
苦シムノデアリマス、コンナ調子デ此法案
ヲ取扱ハレマス、實ハ私共大變迷惑ヲ致

シマスガ、此點ハドウ云フ御考デアリマス
カ

○松井政府委員 申上ゲマスガ、保護委員
會ト云フヤウナモノハ、御承知ノ通り官制
事項デゴザイマシテ、官制大權ニ基ク事項
ガ、其主ナル大部分ヲ占メテ居ルノデアリ
マスカラ、普通ニハ官制ニ關スル事項ヲ、
議會ノ御參考ニ供スルト云フコトハ、唯形
式的ニ申上ゲマスレバ、如何カト考ヘラレ
ル事項デアリマシテ、サウ云フ關係モアリ
マスノデ、サウ云フコトニ致シテ居リマス

○齋藤委員 大概ソシテ御答辯ダラウトハ
想像シテ居リマシタケレドモ、ソレデハ法
案自體モ秘ト云フヤウナコトニナラナケレ
バナラスノデアリマスカラ……是ハ此程度
ニ致シテ置キマス
第五條ノ規定ニ付テ御伺ヒシタイノデア
リマス、此條文ニ依リマシテ、當該官吏ハ
工場ニ立入りマシテ検査ヲ爲シ又ハ關係者
ニ對シテ質問ヲ爲スコトガ出来マス、此當
該官吏ト云フノハ、ドウ云フ官吏ヲ指サレ
テ居ルノデアリマスカ
○松井政府委員 大體地方官廳、縣廳等ノ
委任ヲ受ケマシタ官吏デアリマス、隨テ多
クハ地方ノ警察關係官ガ主デアリマス
○齋藤委員 是ハ縣廳ノ官吏ダト云フ御示

シデアリマスガ、或ハ軍ノ人ナドヲ含マス
ノデアリマスカ

○松井政府委員 軍ト云フ意味ハナイ積リ
デアリマス
○齋藤委員 憲兵ハアリマセヌカ
○松井政府委員 憲兵ハ特殊ノ場合ニ別ノ
意味ニ於テナラバイザ知ラズ、是等ノ關係
ニ於キマシテハ委任ヲ受ケル行政官吏、其
他一般ノ警察官吏デアリマス
○齋藤委員 一般ノ警察官吏ト承知シテ宜
シイネ、私ハ警察官吏ヲ不適當ダト思ヒマ
スケレドモ、是ハ此程度ニ致シマス、尙ホ
此當該官吏ト云フ人ハ、相當ナ秘密ノ場所
ニ入ルト思ヒマス、斯ウ云フ人ガ官吏ヲ
辭職致シマシタ場合ニ、其秘密ノ義務ハド
ウ云フコトニナルカ、制裁ガアリマスカ

○松井政府委員 總動員秘密ヲ取得致シマ
シタ者ガ、之ヲ他人ニ洩スルニ漏洩致シマス
レバ、是ハ官吏デアリマスレバ現職ニ居リ
マシテモ、官廳トシテノ、即チ國家ノ行爲
デアリマセヌカラ處罰セラレル、無論其爾
後ニ於キマシテモ當然處罰セラレルモノデ
アルト思ヒマス
○齋藤委員 第十條ニ付テ御尋ネ致シマ
ス、十條ノ「總動員機密ヲ探知シ又ハ收集
シタル者」云々トアリマス、此總動員機密

ハ總動員機密タルコトヲ知ッテ之ヲ探知シ
タコトデアリマスカ、或ハ總動員機密ト云
フコトヲ知ラズシテ探知シタル者モ入ルノ
デアリマスカ

○松井政府委員 知ラナイデ探知シタ場合
ハ入リマセヌ
○齋藤委員 モウ一ツ第十四條ノ終ノ方デ
アリマス、但シ相當ノ注意ヲ爲シタルトキ
ハ此ノ限ニ在ラズト云フ此「相當ノ注意」
ト云フノハ是ハドウ云フ注意デアリマスカ
——是ハ刑法ニヨク普通ノ注意ト云フコト
ガアリマスガ……

○松井政府委員 是ハ普通相當ノ注意デゴ
ザイマシテ、非常ナ恐ロシイ特別ナ注意ヲ
シナケレバ、何時デモ罪ニナルト云フ譯デ
ハアリマセヌデ、普通ノ相當ナ注意ヲ致シ
テ居レバ、其管理者ノ處罰ハ免レルト云フ
譯デアリマス、此點ニ付キマシテモ、實ハ成
ベク通知ヲ致シマスニ付キマシテモ、一人
ニ通知ヲ致シマセヌデ、例ヘバ或ル機械ノ
特別ナ戰時ニ使フヤウナモノヲ造ル能力等
ニ付キマシテ、其工場長ハ——其工場長ニ
附イテ居リマス技師等ガ知ッテ居ルトカ、云
フ關係ノ人ニハ、出来得ル限り其人ニモ通
知ヲ致シタイ、隨テ是等ノ規定ノ成ベク動
カヌデ宜イヤウニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居

リマス

○齋藤委員 ソコ第二條ニ戻リマシテ、第二條ノ「政府ハ軍需工業、通信又ハ運輸ニ關スル施設其ノ他ノ資源ニ關シトアリマス、之ヲ一ツ出來ルダケ詳細ニ承リタイ、私先程申シマシタ通り、是ノ概念ガ分ラヌモノデアリマスカラ、此法ヲ審議致シマスニ當リマシテ、此内容ヲ知ルコトガ本當ニ必要ナノデアリマス、是ハ秘密會ニデモナシデモシテ、大體斯ウ云フコトヲ御説明シテ下サラヌコトニハ、何ヤラ漠然トシテ居ッテ分リマセヌ、併シアナタノ先程ノ御説明ヲ戴キマシテ、色々官廳ノ手續ハ分ッテ居リマス、ソレハ慎重ナ手續ヲ執ラレルニ相違アリマセヌガ、ソレハソレト致シマシテ、ソレガ吾々ニ分ッテ居ラヌト、此法ノ審議ガ出來ヌノデアリマスカラ、ソコヲドウカ御了解願ヒタイト思ヒマス

○松井政府委員 其點ハ先程モ申上ゲマシタヤウニ、唯普通ノ國家ノ機密デアルトカ、或ハ經濟動員ノ機密デアルトカ、總動員ノ機密デアルトカヲ申スノデアリマセヌデ、鄭重ナ方法ヲ講ジテ指定致シマスカラ、實際ニハ是モ官吏ガ決メルバカリデハゴザイマセヌ、朝野ノ關係者ガ入ッテ來テ居ル、而モ必要トスル法律ニ基ク委員會ノ決議ヲ決

メルコトニ致シテ居リマスノデ、其點ニ付

キマシテハ十分考慮ガ致サレル譯デアリマス、其内容ニ付キマシテハ、例ヘバ軍需工業ノ工場ニ付キマシテハ、大體御諒承ヲ戴ケルカト思フノデアリマス、通信等ニ付キマシテハ、無線電信ノ或ル場所ニ於ケル最大能力デアリマストカ、或ハ通信回線ノ經過地ヲ詳細ニ書イタ圖畫デアリマストカ、或ハ運輸デ申シマスナラバ、特別ナ重要ナ幹線ノ或ル區間ノ線路要領ト云フヤウナモノデアリマストカ、又船ナドデ申シマス、或ル軍需品ヲ輸送スル能力、普通ノ場合ニハサウ云フコトハ必要ナコトデナカラウト思フノデアリマスガ、例ヘバ馬欄ヲ設置スル豫定ノ數ガドウデアルトカ、コンナ事項ガ今豫定サレテ居ルノデアリマス

○齋藤委員 只今第二條ニ付キマシテ、二三例示ガアリマシタケレドモ、之ヲモット詳細ニ承ッテ見タイト思ヒマス、或ハ斯ウ云フ席デ承ルノハ無理カモ知レマセヌカラシテ、秘密會ニデモシテ之ヲ承リタイト思ヒマスガ、其點ヲ保留致シマシテ、尙ホ又第二條ノコトヲ篤ト承ッテカラ、私他ノ條文ニモ多少承リタイコトガアルノデアリマスカラ、ソレヲ保留シテ私ノ質問ヲ一時打切りマス

○熊谷委員長 ソレデハ總動員秘密保護法

ハ先ヅ此處デ一先ヅ中止致シマシテ、更ニ不穩文書ニ關シテ總理大臣ニ對スル質問ガ二ツダケ保留サレテアリマスカラ、之ヲ此場合許スコトニ致シマス——齋藤君

○齋藤委員 私昨日總理大臣ニ質問致シテ置キマシタガ、ソレハ此不穩文書法案ガ實施サレマシタ曉ニ於ケル裁判ノ管轄ニ關スルコトデアリマス、是ハ現在ノ法制ニ於キマシテハ、現役ノ軍人ハ軍法會議、常人ハ普通ノ裁判所、是ハモウ其通りデアリマスガ、然ルニ之ニ關聯致シマシテ、先般本會議ニ於テ齋藤隆夫君ノ質問中ニ、軍法會議ノ刑ガ輕イ、普通裁判所ノ刑ガ重カッタト云フ質問ガアッタノデアリマス、之ニ對シテ陸軍大臣ハ是ハ適切ナル論旨デアルト——速記録ニサウアルヤウデアリマス、全體的ニハ同感デアル旨御答ニナッテ居リマスカラ、此點ニ付テハ私ハサウ取ッテ居リマスガ、昨日陸軍大臣ノ此委員會ニ於テノ御答辯デハ、ソレガ少シ違ッテ居リマシタ、實ハアノ齋藤隆夫君ノ質問ト、陸軍大臣ノ御答辯ガ國民ニ對シテ非常ナ感銘ヲ與ヘテ居リマス、私四五日前ニ田舎ニ歸リマシテ、アノ質問應答ガ如何ニ國民ニ感動ヲ與ヘテ居ルカト云フコトヲ實地ニ聞キマシテ、實ハ非

常ニ欣快ニ堪ヘナカッタ、アレハ放送局カラ可ナリ詳細ニ放送サレテ居リマス、私ガ聽キマシタ事實ハ、二三百人相當ノ人ガ集ッテ居リマシテ、其處ニ放送ガアッタ、齋藤隆夫君ノ演説ハ拍手ヲ以テ迎ヘラレタ、殊ニ陸軍大臣ノ御答辯ハ非常ニ破レルヤウナ拍手デアッタト云フコトデアリマス、アノ御質問ニ付テ議員タル吾々ハ非常ニ感激致シマシタガ、陸軍大臣ノ御答辯ガアッテ吾々ハ安心出來ルノデアリマス、此質問ト答辯ガ二ツ結合セナケレバドウシテモ國民ハ安心出來ナイ、所ガ陸軍大臣ハ其後或ハ貴族院ニ於テ、或ハ此委員會ニ於テ、アノ答辯ヲ段々薙ノ皮ヲ剝クヤウニ否定セレルヤナ傾ガアルノデアリマス、併シ私ハ昨日ノ質問ノ如キ、陸軍ノ軍法會議ノ刑ハ輕カッタト陸軍大臣ハ思ッテ居ラレテモ、此席デサウ云フコトヲ御言明ニナルコトハ無理デアラウト思ヒマスカラ、ソシナコトヲ問ウテハ居ラヌノデアリマス、過去ノコトハ兎モ角トシテ、私ハ此軍法會議ト普通ノ裁判所ト、殊ニ此不穩文書等ニ關シマシテ將來起ルベキ事實ヲ想像致シマス、現役軍人ト普通ノ人ガ合作ヲシタ場合ガ危險ナノデアリマス、サウ云フ場合ニ武力ガ伴フノデアリマスカラ、詰リ共犯ノ場合ヲ餘程考ヘテ置カナイト、

共犯ノ場合ニ斯ウ云フ現役ノ軍人ハ軍法會議、ソレカラ普通ノ者ハ通常ノ裁判、斯ウ云フコトニナルト、是ハ同一ノ人ガ裁判ヲスルノデアリマセヌカラ、ドウシテモ刑ニ輕重ガ長イ間ニハ起ルト私ハ思フ、斯ウ云フコトニ對シテ總理大臣ハドウ御考ニナッテ居ラレルカ、總理大臣ハ更始一新ト云フコトヲ御決意ニナッテ居ルノデアリマシテ、其當面ノ御任務トシテハ、此二・二六事件ノ善後處置ヲ執ラレルコトガ總理大臣ノ重大ナル任務デアルト思フ、ソコデ私ハ此現役ノ軍人ト非現役ノ軍人トノ合作ガアツタ場合、サウ云フ場合ノ裁判ニ對シテドウ云フ御考ヲ持ッテ居ラレルカ、現在ハ是ハ法制上出來マセヌガ、將來之ヲ改正スルトカ何トカ善處サレル御考ガアルカナイカ、之ヲ御尋致シマス理由ハ、是ガ決ラスト怪文書ナドハ後ヲ斷チマセヌ、私ハヤハリ怪文書ノ一ツノ原因ハ此處ニモアルト思フノデアリマス、之ニ付テ總理大臣カラ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス、陸軍大臣カラハ昨日御答辯ガアリマシタカラ、ソレト異ッテ御答辯ヲ拜聽スルト云フコトハ豫期シテ居リマセヌケレドモ、此際特ニ總理大臣カラ御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○廣田國務大臣 只今齋藤君ノ御質問ノ點

ハ、現在ノ制度トシテハ既ニ司法各機關ノ構成ガ決ッテ居リマスルノデ、今ノ事態ヲ直チニ變更スルト云フコトハ考ヘテ居ナイノデアリマスルガ、御述べニナリマシタ趣旨ノコトハ相當研究ノ價值アル大キナ問題デアルトハ思ッテ居ルノデアリマス

○熊谷委員長 宜シウゴザイマス

○齋藤委員 宜シウゴザイマス

○熊谷委員長 田万君

○田万委員 總理大臣ハ組閣ノ際ニ國政一新、庶政改革ト云フコトヲ標榜致シマシタ、尙ホ長イ間外交ノ方ニ關與サレマシテ、總理大臣トシテノ御經驗ハ是ガ初メテデアリマス、從ッテ總理大臣トシテ古イ色ニハ染ンデ居ナイ方ト考ヘマス、露骨ニ言ヒマスト人ヲ縛ッタコトモナシ、又人ニ對シテ非常ニ壓迫ヲ加ヘタ職責ニ御就キニナッタコトガナイノデコザイマス、サウ云フ風ナ總理大臣ノ現在ノ立場ヲ十分ニ考慮下サイマシテ、明鏡止水ノ心持デ今カラ申上ゲルコトヲ御聽キ願ヒ、之ニ對シテ御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス、不穩文書等取締法、是ハ僅カナ條文デ出來上ッテ居リマス、私共ハ文字ノ上ニ現レタ事柄ニ付テモ、色々ナ意見ヲ持ッテ過日來質問シテ居ルノデゴザイマスガ、ソレヨリモ不

穩文書等取締法ノ内部ニ潛ンデ居ル本質ニ付テ非常ニ心配ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、何故ナラバ從來ノ法律ト云フモノハ立憲的デハ決シテナカッタ、私ハ之ヲ斷言致シマス、總理大臣ハ本會議ニ於キマシテ、私ノ質問ニ對シ憲法政治ガ一番良イ政治ダト御答辯ヲ爲サッタ、憲法政治ト云フモノハ色々ナ内容ヲ持ッテ居リマスガ、其内容ノ一ツニハ最大多數ノ最大幸福ヲ護ルト云フコトガ本質デナケレバナラスト考ヘルノデアリマス、所ガ從來ノ法制ト云フモノハ、之ニ反シテ一部資本家、地主ノ爲ニハ極メテ役ニ立チマシテ、最大多數ヲ占メテ居ル所ノ勤勞無產大衆ノ爲ニハ非常ニ不都合ナ作用ヲシテ來タコトヲ吾々ハ身ヲ以テ體驗シテ居ルノデゴザイマス、ソレト同ジヤウナ工合ニ此法律ガ——此法律ト申シマスノハ不穩文書等取締法ナルモノガ發動サレルコトニナリマス、私達ハ非常ニ憂慮セザルヲ得ナイ、今日マデ治安ノ維持ト云フコトハ資本家、地主ノ治安ヲサヘ維持スレバ事ガ足リルヤウニ考ヘラレテ、國民ノ九割又ハ九割五六分ヲ占メテ居ル勤勞無產大衆ト云フ者ノ治安ト云フモノハ、殆ド維持サレテ居ラナイ、ソレガ積弊ノ爲ニ茲ニ生活不安、國政一新ト云フ問題ガ勃發シタノデゴザイマ

ス、現在マデノ法律制度ハ私ノ指摘シタ通りデ、裁判所ノ裁判ニモソレガ色々現レテ居リマスルガ、單ニ行政執行法唯一ツノ例ヲ採ッテデモ御考下サイマスレバ、此點ハ十分御分リデアラウト思フ、資本家ガドンナニ暴力團ヲ雇ウテ勤勞者ヲ壓迫シ資本家ガドンナニ不法ヲ齎首ヲ勤勞者ニ加ヘマシテモ、之ニ對シテ國家ノ治安、社會ノ治安ヲ害スルモノトシテ行政檢束ヲシタト云フコトヲ私ハ聞キマセヌ、併ナガラ不法ノ齎首トカ、或ハ不法ヲ勤勞ノ強制、斯ウ云フヤウナ事ニ對シマシテ、勤勞者ガ團結ヲ致シマシテ資本家ニ向ヒマスル場合ニハ、直チニ國家ノ公安ヲ害シ、社會ノ秩序ヲ紊スト云フヤウナ名目ノ下ニ、行政執行法ノ發動ニ依ッテ檢束ヲサレテ居ル、而モ此行政執行法ハ檢束ノ場合ハ、翌日ノ日没マデシカ檢束スルコトガ出來ナイト云フ規定ガハッキリ出來テ居ルニモ拘ラズ、或ハ一月、長イノニ至リマシテハ何箇月モ留置場ノ中ニ呻吟シナケレバナラスト云フヤウニナッテ居ル、是ハ一例ニ過ギナイノデス、單ニ一ツノ行政執行法ヲ以テ見マシテモ、過去ニ於ケル法制ト云フモノハ、資本家、地主ノ秩序サヘ護ラナイ、勤勞者ヤ農民ハドウナッテモ構ハナイ、土地ヲ持チ、財産ヲ持チ、工場ヲ

持ッテ居ル人サヘ護ッテ行クナラバ、ソレデ
國家ノ治安、社會ノ安寧ト云フモノガ維持
サレタリト考ヘテ來タ、ソコデ勞働者、農
民ト云フモノハ、爭議ノ起ル毎ニ留置場ノ
中ニブチ込マレル、是ガ現在ノ非常時局ヲ
生シタ根本デアアルノデゴザイマス、此點ヲ
私ハ明鏡止水ニ考ヘテ戴キタイノデアリマ
シテ、國政一新ト首相ノ言ハレル所ノ意味
ハ、資本家、地主ノ秩序ヲ維持スルト云フ
コトガ國家社會ノ秩序ヲ維持スルト云フ意
味デナクシテ、憲法政治ノ本義ニ立展ッテ、
最大多數ノ最大幸福ヲ圖ルモノデアルト云
フナラバ、寧ロ國民ノ九割五六分ヲ占メテ
居ル勤勞無產大衆ノ生活維持、此安寧秩序
ヲ維持シテコソ、初メテ憲法政治ノ本義ガ
達成セラレルモノト私ハ考ヘルノデゴザイ
マスガ、之ニ對スル忌憚ナキ御所見ヲ承リ
タイト考ヘルノデゴザイマス、是ガ一點、
今一ツノコトハ同ジヤウニ是ト或ル意味デ
關聯シテ居ルノデゴザイマスガ、大臣諸君
ガ東京デハ其例ハ知リマセヌ、私ハ大阪ノ
者デゴザイマスガ、大阪デハ何々大臣ガ來
ラレタト云フウヤナ場合ニハ、常ニ資本家、
地主ノ方ト宴會ヲセラレテ、時ニハ藝者ヲ
侍ベラレテ愉快ニヤッテ居ラレル記事寫眞
ガ屢々新聞紙上發見致シマス、斯ウ云フ事柄

ヲ總理大臣ハドウ御考ニナリマスカ、之ニ
依ッテ一般無產大衆ガドウ云フ印象ヲ受ケ
マスカ、大臣ガ來レバ其附近ニ於ケル資本
家ヤ地主ヲ集メテ御馳走ヲ食ベテ、賑ヤカ
ニ相談ヲスルカラ、國民ノ九割五六分ヲ占
メテ居ル所ノ勤勞無產大衆ガ益々貧乏ヲシ
テ、益々苦シム、而シテ相談ニ乗ッテ居ル所
ノ資本家、地主ハ富ミ且ツ尊クナッテ行ク、
唯一ツ大臣ガ大阪ニ來タト云フ出來事ガ新
聞ニ載ッダケデモ、サウ云フ印象ヲ多クノ
勤勞無產大衆ニ與ヘテ居ルノデゴザイマ
ス、又人間ト云フモノハ感情ノ動物ト申シ
マスガ、負ウタ子ヨリ抱イタ子ガ可愛ト申
シマシテ、ヤハリ御馳走ニナリナガラ色々
ナ資本家地主ノ希望ヲ耳ニ致シマス、其
人ノ利益ヲ圖ルノハ是ハ人情デアラウト思
ヒマス、サウ云フ風ニ考ヘテ參リマスル
ト是ハ詰ラヌヤウデゴザイマスケレドモ、
吾々勤勞無產大衆ガ受ケル所ノ印象ハ、
焼付クヤウナ反抗的ナ印象ヲ受ケテ居ル
ノデアリマス、ダカラシテ大臣諸君ガ地
方ニ參リマシタ時ニハ、僅カナ資本家、地
主ト會フ暇ガアレバ、酒ヤ美人ヲ差出スコ
トハ出來ナイノデアリマスガ、ヤハリ貧乏
人ニモ團體ガアルノデアリマスカラ、番茶
ノ一杯デモス、リ合ッテ貧乏人ノ窮狀ヲ聽

ク雅量ガナクテハ、國政ノ一新ト云フコト
ハ出來ナイト考ヘルノデアリマス、此點ニ
對シ明答ヲ得タイト思ヒマス
○廣田國務大臣 只今田万君ノ御尋ニナリ
マシタ第一點ニ付キマシテハ、國家ノ各般
ノ法制ニ付キマシテ、國民ノ一部分ニサウ
云フ風ノ感ジヲ與ヘテ居ルコトガアリマス
ト致シマシテハ、甚ダ私ハ遺憾ナコトデア
ルト思フノデアリマス、國家ト致シマシテハ、
申スマデモナク國民全般ノ幸福ヲ眼目トシ
テ政治ヲシテ參ラナケレバナラヌ、各般ノ
法制モソレニ依ッテ、其必要ニ應ジテ作ッテ
參ルベキモノト思フノデアリマス、國家ノ
進歩ノ途上ニ於キマシテハ、各種ノ法制ヲ
設ケル必要ガアルノデアリマスガ、少クト
モ現内閣ニ於キマシテハ、政綱ノ重要ナル
部分ト致シマシテ、國民生活ノ安定ト云フ
コトヲ高調致シテ居リマス、是ハ各個人、
ソレ／＼其人ノ境遇ニ依ッテ幸不幸モアル
コトデアラウト思フノデアリマスガ、先ツ
不幸ナ方面ヲ第一ニ生活ノ安定ヲ圖ル必要
ガアルト思フノデアリマス
第二ノ點ニ付キマシテハ上ノ爲ス所下之
ニ倣フト云フコトハ昔カラ謂ハレテ居ル事
デアリマスシ、又社會ノ各方面ノ現象ニ付
キマシテ、違ッタ方面カラハ一種特別ノ眼ヲ

以テ見ルヤウニナルト云フヤウナコトハ、
結局社會ノ各方面ニ非常ナ不調和ヲ來ス因
デアルト思フノデアリマス、隨テ身多衆ノ
瞻視ノ的ニナッテ居ル者ト致シマシテハ、其
邊ニ付キマシテハ十分注意ヲシテ參ラナケ
レバナラヌコトデアルト存ズルノデアリマ
ス
○田万委員 只今總理大臣カラ洵ニ抽象的
デハゴザイマシタガ、内容ト致シマシテ
ハ、餘程進歩シタ御答辯ガアッタト考ヘマ
シテ、其點ニ付テ聊カ満足ノ意ヲ表スル者
デゴザイマスガ、只今申サレマシタ如ク、
社會ノ内デ生活其他ニ困ッテ居ル者カラ、良
イ工合ニシテ行クト云フコトガ國政一新、
庶政改革ノ要諦デアルトノ意味ヲ言明セラ
レタ、又社會ノ師表ニ立ツベキ所ノ大臣諸
公ノ行動ガ今後ニ於テ、十分戒慎改革セラ
レルコトデアラウト考ヘマス、以上ノ點ニ
特ニ力ヲ督勵ニ盡クサル、ヤウ切實ナル希
望ヲ申上ゲテ質問ヲ打切りマス
○熊谷委員長 ソレデハ不穩文書等取締法
案ニ付キマシテハ質問ハ終了致シマシタ、
是デ一時休憩致シマシテ午後二時開會致シ
マス
午後零時二十二分休憩

午後三時十九分開議

○熊谷委員長 是ヨリ開會致シマス都合ニ依リマシテ四時半マデ休憩致シマス

午後三時二十分休憩

午後九時三十六分開議

○熊谷委員長 ソレデハ是ヨリ開會致シマス、退職積立金及退職手當法案ニ付キマシテハ質問ハ既ニ終了サレテアリマス、此場合合是ノ討論ニ入りマス——川崎君

○川崎委員 私ハ本案ニ付キマシテ、若干ノ修正ヲ加ヘ且ツ之ニ對シマシテ附帶ノ決議ヲシテ、本案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、第二ニ私が修正致サントスル箇所ヲ先ヅ申上ゲタイト思ヒマス、第一條ノ第一項ニ於キマシテ「常時三十人以上」トゴザイマス所ヲ「常時五十人」ト駄目々々、十人ニシロト呼フ者アリ、斯様ニ修正致シタイト思ヒマス、而シテ其第三號ヲ全部削除致シタイト思ヒマス、續イテ第十六條ニ於キマシテ、其第一項中ニ「賃金ノ少クトモ百分ノ二」トゴザイマス所ノ「少クトモ」ノ此四字ヲ削除致シタイト考ヘマス、第十七條ニ於キマシテハ、私ハ大分此點ニ付テ修正ヲ加ヘタイト思ヒマスカラ、便宜上私が修正ヲ加ヘタ結果ニ於テノ條文トシテ之

ヲ讀上ゲマスルト、法案ノ十七條ヲ「事業主ハ前條ノ退職手當積立金ノ外勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年一回以上一定ノ期間末ニ於ケル労働者ノ其ノ期間中ノ賃金ノ百分ノ三以内ニ於テ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル金額ヲ退職手當積立金トシテ遲滞ナク積立ツベシ、但シ行政官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ」斯様ニ修正ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、最後ニ第三十三條ノ第一項ニ於キマシテ、其末段ニ於キマシテ、「三年以下ノ懲役」トゴザイマス所ヲ「一年以下ノ禁錮」ト變ヘタイト思フノデアリマス、第一條第一項ニ於キマシテ、本法ノ適用ヲ受ケル範圍ニ付キマシテ、常時三十人以上ノ労働者ヲ使用スル工場、又ハ鑛山、斯ウ云フコトニナツテ居リマスルガ、現在我國ノ經濟狀態、殊ニ産業狀態ニ鑑ミマシテ、理想ト致シマシテハ、斯様ナ社會立法ト致シマシテハ三十人ト云フヤウナコトヲ限定セズニ、モット範圍ヲ廣クシ、即チ此限度ヲ廣クシテ、或ハ二十人、或ハ十人斯様ニシテ方宜イトモ考ヘラル、ノデアリマスルガ、併ナガラ又現在ノ狀態ニ於キマシテ、我國ノ中小工場、鑛山ニ於キマシテハ、尙ホ負擔ノ點ニ於キマシテ相當ノ考慮ヲ要スルモノデアリマシテ、斯様ナ社會立法ヲ設

ケマスル場合ニ於キマシテ、法律ニ依ッテ之ヲ強制シテ施行ノ實施ヲ命ズルト云フ場合ニ於テハ、餘リ之ニ依ッテ商工業者ノ負擔ヲ加重シ、是ガ經營ヲ困難ナラシムルヤウナ虞ガアリマスルナラバ、是ハ大イニ考慮ヲ要スルコト、思フデアリマス、是等ハ漸次漸進的ニ「ステップ・バイ・ステップ」擴張ヲ圖ツタ方宜イト思ヒマスノデ、我國ノ狀態ニ於キマシテハ五十人ヲ限度ト致スコトヲ、私ハ適當ナリト考ヘル者デアリマス、尙ホ第三號ヲ削除セント致シマスノハ、本委員會ニ於ケル審議ノ經過ニ稽ヘマシテモ、當局ノ御説明ニ依リマシテハ、差當リ此三號ヲ適用致シマシテ、勅令ヲ以テ規定スベキ事業ガゴザイマセヌヤウナコトヲ伺ッタノデアリマスルンデ、當局ニ於キマシテモ差當リ此勅令ニ依ッテ、指定スベキ事業ノ御見込ガナイト云フ場合ニ於テ、條文ノミヲ設ケテ置ク必要ガナイト私ハ考ヘルノデアリマス、是等ハ社會ノ狀況ニ從ヒマシテ、進歩ニ從ヒマシテ、必要ナ場合ガ生ジマシタ場合ニ於テ、改メテ追加補完スレバ宜イト云フ考デ、此際之ヲ削除致サントスルモノデアリマス、第十六條ニ於キマシテ、退職手當ヲ積立テル場合ニ於テ、少クトモ職工ノ賃金ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ積立テ

ルヤウニト致シテ居リマスルガ、強行法ニ於キマシテ行ク場合ニ於テ「少クトモ」——斯様ナ動モスレバ勞資ノ間ニ是ガ爲ニ紛議ノ因ニナルヤウナ虞ノアル不確實ナ文字ヲ使用スルコトハ、成ベク之ヲ避ケテ、確定額ニ致スコトヲ適當ト認メマシタガ爲メデアリマス、第十七條ノ修正ハ本委員會ノ質疑應答ノ經過ニ鑑ミマシテモ、一面ニ於キマシテハ是ガ所謂利潤ト言ヒマスカ、利益配當ノ趣旨ヲ認メルヤウナ筋合ガゴザイマスル、即チ所謂「プロフィット・シェアリング」、斯様ナ意味ノ「プリンシプル」ガ認メラレト云フコトハ、斯ウ云フ強行法ニ於テ、現在我國ノミナラズ、他ノ各國ニ於キマシテモ、未ダ法律ニ依ッテ利潤配當ノ制度ヲ認メテ居ルト云フヤウナコトガナイ時代ニ於キマシテ、卒然トシテ此退職手當法案ニ於テ、初メテ斯様ナ主義ヲ茲ニ認メルト云フヤウナ誤解ヲ招ク虞ノアル規定ハ、私ハ是ハ慎ムベキモノデアルト云フ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、ノミナラズ斯様ナ複雑ナル規定ニ依ッテ其利益ヲ計算シ、積立ノ金額ヲ定メルト云フコトハ、大企業ノ工場、會社ニ於テハイザ知ラズ、中小工場、殊ニ個人企業ニ於キマシテハ、悲シイ哉我國ノ現在ノ工場ノ狀態、事業ノ經營ノ狀態ノ實情

ヲ見マス、十分ニ簿記モ定メテ居ナイ、正確ナル毎期毎年ノ純益ノ計算ト云フコトハ餘程困難ナル、而モ此積立金ヲ定メタル爲ニ、斯様ナコトヲ正確ニ記サナクチャナラヌ、若シ是ガ不確實ニナレバ、茲ニ勞資ノ紛争ヲ招ク端緒トナル虞モアリマスコトニ鑑ミマスレバ、私ハ今回ノ立法ニ於テハ、

左様ナル處ノアルモノハ避ケタ方ガ宜イ、尙ホ又小企業ノ工場ニ於テハ、是ガ爲ニ一層ノ煩雜ヲ來ス虞ガアリマスカラ、ソレ等ノ苦痛、事弊ヲモ此際避ケシムルコトガ適當ナリト認メタカラデアリマス、而モ私ハ茲ニ特ニ申上ゲテ置キタイノハ、斯様ナ意味デ私ハ本條ヲ修正致シタイト思フノデアリマス、畢竟スルニ此十七條ヲ修正致シマシタ根本ノ趣旨ト申シマスモノハ、此條文ハ事業主ニ於テ相當ノ利益ガアリ、負擔能力ノアル場合ニ於テノミ、積立金ヲ積立デシムル趣旨ノ條文デアアルノデアリマス、隨ヒマシテ相當ノ利益ノナイ場合ニ於テハ、行政官廳ノ許可ヲ受ケテ積立ヲ爲サルコトヲ得ルコトニ致シタノデアリマス、即チ行政官廳ノ認可ヲ得ル、斯ウ云フコトニ致シマシタノハ、之ニ依ッテ勞資ノ紛争ヲ成ベク避ケル、公正ナル行政官廳ノ介入ニ依ッテ、中正ナルソコニ裁決裁斷ヲ得ル、斯ウ云フ

コトニ致シタ、尙ホ又此積立ハ負擔能力ノナイ工場、利益ノナイ場合ニ於テハ、其積立ヲ行政官廳ノ許可ヲ得テ、積立テルコトヲシナクテモ宜イコトニ致シタイ、斯ウ云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス

最後ニ私ガ修正ヲ提案致シマシタ三十三條ノ此修正ハ、本委員會ノ經過ニ鑑ミマシテモ相當ノ議論ガアッタノデアリマス、一言ニシテ申シマスレバ、私ハソレ等ノ經過ニ鑑ミマシテ、此條項ニ於テ「三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトハ、本草案ノ實體ニ鑑ミマシテ、其刑罰ノ過重ナルコトヲ思ヒマシテ、之ヲ曩ニ申上ゲマシタヤウニ「一年以下ノ禁錮」斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘタノデアリマス、以上ガ私ガ修正ヲ致サント致シマシタ箇條及其理由デアリマス

最後ニ私ハ本案ノ實施ニ付キマシテ、本案ヲ吾々ガ賛成致スト云フ意味ニ於キマシテ、私ハ是非當局ニ對シテ希望シテ置キ、尙ホソレノ實現ヲ御願シ、之ヲ條件ト致シテ置キタイト思フ事項ガアルノデアリマス、ソレガ三箇條ゴザイマシテ、今茲ニ朗讀致シテ置キマスル

附帶決議

一 政府ハ本法施行ノ實績ニ徴シ更ニ其ノ

適用ノ範圍ヲ擴ムル爲小企業ニ對シテハ國費ヲ以テ之ヲ助成スル等適當ノ方法ヲ以テ本法ノ完備ヲ期スベシ

二 本法ニ依ル積立金ノ運用ニ就テハ特別ノ金庫ヲ設クル等中小工業者及關係勞働者ニ對シ金融其ノ他ノ利便ヲ圖リ以テ其ノ福祉ヲ増進スベシ

三 前二項及本法ニ附帶スル勅令並省令等ニ規定スル重要事項ニ關シ特ニ調査機關ヲ設ケ之ヲ附議スベシ

以上三箇項目ノ條項ヲ附帶決議トシテ、茲ニ提案致ス次第デアリマス、何卒私ノ修正並ニ附帶決議ニ付キマシテハ、御贊同アラシコトヲ切望スル次第デアリマス

○勝田委員 只今川崎君カラ御提案ニナリ

マシタ修正條項ニ付キマシテ、此際政府ニ一點御意見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス、即チ第十七條ノ條文ニ關聯スルコトデゴザイマシテ、只今川崎君ノ御説明ニ依リマスルト、此條文ハ事業主ニ於キマシテ相當ノ利益ガアリ、負擔能力ガアル場合ニ於テノミ積立金ヲ積立テル、斯ウ云フ趣旨ノ條文デアアル、隨テ相當ノ利益ノナイ場合ニハ、行政官廳ノ許可ヲ受ケマシテ、積立ヲシナクテモ宜イ、斯ウ云フコトニナッテ居ル、斯ウ云フコトデゴザイマスルガ、政府ハ其點ニ對

シマシテ、法律上ノ御解釋ト致シマシテ、ソレニ對スル御意見ヲ承リタイノデアリマス

○廣瀨政府委員 只今ノ御質問ハ文理解釋ニ關スル質問ト心得ヘマス、此修正案ガ法律ニ相成リマシタ場合ニ於キマシテハ、御説ノ趣旨ニ解スベキモノト心得マス

○渡邊委員 政府ハ屢、此案ガ一年以上モ掛ッテ、モウ最後案デアアル、之ヲ施行シナケレバ勞働者ノ福利ハ増進シナイト云フコトヲ言明ナサレテ、吾々ニ其一日モ速ニ通過セラレンコトヲ御希望セラレテ居ッタノデアリマス、只今民政黨ノ修正案ヲ拜見致シマスルト、全ク勞働者ノ生活ニ對スル、將來ノ希望ヲ失ハシムルヤウナ骨拔案デアリマシテ（ヒヤ／＼拍手）、政府ガ折角是マデ長イ間努力シテ居ラレナガラ、斯ノ如キ案ニハ到底政府ハ同意スル道理ガナイト、私共ハ斯ウ考ヘルノデアリマスガ、其邊ノ御所見ヲ先ヅ御致シタイト思ヒマス

○潮國務大臣 只今川崎君カラ修正ノ御發案ガアリマシタバカリデ、マダ私ハ贊否ヲ申上ゲル時機デハ無論ナイノデアリマス

○渡邊委員 ソレデハ更ニ社會局長官ニ御致シマスルガ、委員會ニ於テ此十七條ガ論議セラレタル際ニ、社會局長官ハ非常ニ

是ガ必要デアリ、労働者ノ生活ニ最モ切實

ニ必要デアッテ、其向上ニナクテハナラナイ

案デアルト云フコトヲ屢、御説明ニナッテ居

リマス、社會局長官ハ此事ニ付キマシテハ、

相當御研究ニナッテ居ル筈デアリマスルカ

ラ、長官ノ御意見ヲ御同致シタイ

○廣瀬政府委員 原案トシテ提出致シテア

リマスカラ、原案トシテ必要ナモノト私ハ

考ヘテ居リマス

○熊谷委員長 次ニ塚本君

○塚本委員 私ハ……

〔拍手スル者多シ〕

○熊谷委員長 拍手ヲ禁ジマス

○塚本委員 私ハ別ニ一箇ノ修正案ヲ提出

スル者デアリマス、先ヅ最初ニ私ノ修正シ

タイトスル箇所ヲ申上ゲテ置キマス

第一條中ノ「常時三十人以上」トアリマス

ノヲ、「常時十人以上」ニ改メ、尙ホ同條ノ

第一項第三號ニ新シク「三労働者災害扶助

法ノ適用ヲ受クル事業」ト云フノヲ一ツ挿

入スルノデアリマス、隨テ原案ノ第三號ヲ

四號ニ改メルノデアリマス、ソレカラ第五

條ノ第一項中ノ「六月」トアリマスノヲ「三

月」ニ改メマシテ、尙ホ「一年」ト云フノヲ

「六月」ニ改メルノデアリマス、尙ホ同項ノ

第一號中ノ「六月」ヲ「三月」ニ改メマス、

ソレカラ第二十六條ノ第一項ノ第一號中ニ

「一年以上三年未満」トアリマスノヲ「一年

未満」ト改メマス、尙ホ同項第二號中ニ「三

年以上」トアリマスノヲ「一年以上」ト改メ

ルノデアリマス、ソレカラ第三十三條ノ中

ノ第一項ノ末尾ニ「三年以下ノ懲役又ハ三

千圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマスノヲ「三

年以下ノ懲役ニ處ス」ト致シマシテ、「又ハ

三千圓以下ノ罰金」ト云フノヲ削除シタイ

ノデアリマス、以上ガ大體修正ノ骨子デア

リマスカ、以下少シク此修正ニ付テノ説明

ヲ試ミタイと思フノデアリマス、原案ノ常

時三十人以上ヲ十人以上ニ改メマスコト

ハ、私ハ今日ノ時勢ニ於テハ當然サウシナ

ケレバナラナイモノデアルト固ク信ズルノ

デアリマス、既ニ此委員會ニ於キマシテモ

申上ゲマシタヤウニ、今日労働立法ト致シ

マシテアリマス所ノ工場法ノ沿革ヲ調べテ

見マスルト、工場法ガ公布セラレマシタノ

ハ、明治四十四年ノ三月二十八日デアリマ

ス、是ガ大正五年ノ九月一日ニ施行ニ相成

リマシタノデアリマスガ、是ハ最初カラ十

五人以上ヲ常時使用スル所ノ工場ニ適用セ

ラレテ居ルノデアリマス、サウシテ大正十

二年ノ三月二十九日カラハ、十人以上ノ勞

働者ヲ使用スル所ノ工場ニ是ガ適用ニ相

成テ居リマス、更ニ大正十五年ノ七月一日

カラハ、就業時間ヲ短縮シ、或ハ保護職工

ノ夜業禁止ノ猶豫期間及ビ深夜業ノ範圍等

ガ短縮セラレテ居リマス、又昭和四年ノ

三月二十七日ニハ一部ノ改正ガ行ハレマシ

テ、就業時間ニ關スル規定ヲ改メタルシ、

原動機ヲ使用スル常時職工數ガ十人未満ノ

織物工場竝ニ綿絲工場ニモ適用スルヤウニ

ナッテ居ルノデアリマス、又健康保險法ノ

出來マシタ沿革ヲ見マスルノニ、施行ニナ

リマシタノハ昭和二年一月一日カラデアリ

マスガ、此健康保險法ニ於キマシテハ、最

初カラ十人以上ノ工場ニ是ガ適用ニナッテ

居ルノデアリマス、更ニ昭和十年ノ四月一

日カラハ五人以上ノ職工ヲ使用スル所ノ工

場ニ是ガ適用セラレテ居ル、此二ツノ健康

保險法竝ニ工場法ノ發布セラレマシタ所ノ

今日マデノ沿革カラ見マシテモ、工場法ガ

實施セラレマシタノハ大正五年デアリマス

ルカラ、今日ヨリ約二十五年ノ昔デアリマ

ス、二十五年前ニ施行セラレタ所ノ工場法

ガ、最初カラ十五人以上デ以テ施行セラレ

テ居ルノデアリマス、此工場法ト云フモノ

ヲ今日カラ考ヘテ見マスルナラバ、工場主

ニ相當重キ負擔ガ課セラレテ居ルト云フコ

トハ皆サン御承知デアリマス、又健康保險

法ニ於キマシテ、今日問題トナッテ居リマ

スル以上ニ、資本家ノ負擔ト云フモノハ重

イノデアリマス、今日制定シヨウトスル所

ノ退職積立金法案ガ中小工業家ヲ非常ニ壓

迫シ、中小工業家ノ到底其負擔ニ堪ヘザル

ガ如キ議論ヲ爲サル、方モアルノデアリマ

スケレドモ、是レ以上ノ重キ負擔ナル所

ノ工場法竝ニ健康保險法ガ常時五人以上、

十人以上ニ之ヲ施行セラレテ居リマス、而

シテソレニ付テ何等今日マデ支障ヲ聞カナ

イ、圓滑ニ是ガ今日マデ運用セラレテ居ル

ノデアリマス、此工場法竝ニ健康保險法ノ

施行ニ對シテ工場主カラ未ダ私ハ怨嗟ノ聲

ヲ耳ニシナイノデアリマス、ソレニモ拘ラ

ズ工場法ノ施行カラ見テ二十五年ノ今日、

日本ノ工業ハ非常ニ進歩發達シテ居ルノデ

アリマス、而モ日本ニ於テハ庶政一新ガ叫

バレ、進ンデ資本主義ノ是正ガ叫バレルヤ

ウナ時代ニナッテ來テ居ル、斯ウ云フ時代ニ

於テ、其時勢ニ適應シテ定メヨウトスル所

ノ本案ガ最初ニ世間ニ傳フタ所ノ原案ハ十

人デアッタ、ソレガ色々ナル資本主義、資本

家階級ノ諸勢力ニ歪メラレテ、茲ニ本會議

ニ提案セラレタモノハ三十人ト適用範圍ガ

狹メラレテ居ル、其事ニ依ッテ既ニ工場、礦

山労働者三十三萬ガ此適用カラ除外サレル

コトニナルノデアル、ソレニ今民政黨カラ提出セラレタ所ノ修正案ニ依リマスルナラバ、之ヲ五十人ト改メラレルノデアリマスガ、左様ニ致シマスルナラバ、其事ニ依ッテモ既ニ十八萬ノ労働者ガ又除外サレルコトニナリ、折角出來ル所ノ唯一ノ社會立法ノ恩惠ヲ受ケルコトガ出來ナイヤウニナルノハ甚ダ遺憾ト存ズルノデアリマス（ヒヤヒヤ）私ハ更ニ此運用範圍ヲ極メテ縮少スルト云フコトガ、ドンナ影響ヲ及ボスデアラウカト云フコトヲ深く考ヘテ戴キタイノデアリマス、今日今申シマシヤウナ、十人以上五十人未滿ノ、所謂五十幾萬、五十萬五千カノ労働者ト云フモノハ、非常ナ希望ヲ持ッテ、本案ガ自分等ノ上ニモ適用ニナルヤウニ議會ヲ通過スレバ宜イト云フ眞情ヲ察シテ戴キタイノデアリマス、勿論私ハ此原案ト云フモノハ未ダ私共ノ満足スベキモノデハナイケレドモ、ソレハ無イヨリハマシデアル、何トカシテ此議會ニ於テ早く通過サシタイ、斯様ニ希ッテ居ッタニモ拘ラズ、非常ニ議事ガ遷延致シマシテ、如何ナル内部的ノ事情ガアツカ知ラヌガ、此委員會ニ於キマシテモ二十一日ノ正午ニ一應質問ヲ打切ッテ、今日マデ民政黨ノ此案ニ對スル態度ガ決シタナラバ、直チニ此委員會ノ

議ニ掛ケルカラ、ソレマデ暫ク待ッテ呉ルト云フコトデアッタガ、待タセルコト數日、漸ク茲ニ議ヲ練ルニ至リマシタガ、其出サレタ修正意見ニ依リマスレバ、五十人以上ノ工場礦山デナケレバ適用シナイト云フ、サウ云フ修正意見ヲ茲ニ見ルニ及ンデハ失望セザルヲ得ナイノデアリマス（ヒヤヒヤ）斯ウ云フコトデハ國民大衆、就中労働大衆ノ失望ハ如何バカリデアリマセウカ、更ニ其事自體ガ曩ニ飯塚委員カラ、殆ド一日ニ互ッテ縋、此原案ノ如キハ労働者モ喜バナイ、工場主モ喜バナイ、何故三十人以下ノ労働者ニモ之ヲ適用スルヤウニシナイノカ、熱心以テ殆ド一日終始シテ、當局ニ向ッテ當局ノ意見ヲ確メルコトニ努メラレタコトニ對シテ、私ハ滿腔ノ敬意ヲ持ッテ居ッタノデアリマス、サウ云フ風ニ工場主自體ノ中デモ、早く此法案ガ出來レバ宜イガ、即チ三十人、或ハモット十人以上ニモ適用範圍ガ廣メラレテ、サウシテ本院ヲ通過スレバ宜イガト考ヘテ居ルノハ、嘗ニ飯塚委員バカリデハナイ、ソレノミナラズ労働者大衆ノ意見ニ反シ、又企業家ノ意思ニモ副ハナイヤウナ修正意見ヲ出サレルコトハ、甚ダ心外デアリマス、私ハ是ニ於テ深く思ヒラ致シテ戴キタイノハ、若シサウ云フヤウナ

修正案ガ假ニ本六十九議會ニ於テ通過スルト致シマシテ、其後ニ於ケル日本ノ工業界ノ中ノ勞資ノ關係ガドウナルデアラウカト云フコトモ考ヘテ貰ヒタイ、此問題ノコトハ既ニ全國ノ労働大衆ノ深く知ル所デアリマス、隨テ之ヲ契機ト致シマシテ、退職手當ノ制度ヲ確立シテ戴カナケレバナラス、斯ウ深く考ヘテ居リマセウ、サウシマスルナラバ今後五十人以下ノ本法ノ適用ヲ受ケナカッタ工場ニ於テハ、五十人以下ノ工場ニ之ヲ設ケテハナラナイト規定セラレル譯デハアリマセヌカラ、勢ヒ其處ニ於テハ勞資ノ爭議ト云フモノガ——諸君ガ深く御心配ニナルヤウナ所謂勞資ノ紛議ト云フモノガ、此問題ヲ中心トシテ盛ニ起ルデアラウト云フコトモ、御想像願ヒタイと思フノデアリマス（ヒヤ／＼）又私ハ本會議ニ於テ申上ゲマシタヤウニ、所謂此制度ヲ必要トスルノハ、五十人以上ノ工場ヨリモ五十人以下ノ、更ニ三十人以下ノ工場ニコソ是ガ必要ナノデアリマス、其必要ナル工場、此制度ノ必要ヲ望ンデ居ル所ノ労働大衆ヲ除外シテ、此制度ヲ設ケテ何ノ意義ガアルノデアリマスカ、五十人以上ノ工場デアリマスルナラバ、モット進ンダ規程ヲ持ッテ居ル、縱ンバ其規程ヲ持タズトモ、是レ以上ノ手

當ナドハ其時々々、勞資ノ間ノ話合ガアッテ貰ヘルノデアル、決シテ心配ハナイノデアル、本案ヲ必要トスルノハ、ソレハ五十人以上ノ工場、三十人以下ノ工場ガヨリ多ク必要ナノデアル、即チ、諸君ガ言ハレル如クニ、是等ノ中小工業家ハ其資力極メテ薄弱デアル者ガ多い、サウ云フ關係カラ致シマシテ、一度労働者ヲ解雇スル、斷ル、サウ云フ場合ニ何等ノ準備ナクシテ、其労働者ニ一時ニ多クノ金ヲ與ヘルト云フコトハ困難デアル、一時ニ多クノ金ヲ與ヘルコトノ困難デアル是等ノ小工場ニ於テコソ本法ヲ適用シテ、不斷カラ其準備ヲ爲シテ置クト云フコトガ必要デハナイカ、是ガ又本法制定ノ主眼デナケレバナラヌと思フ、其所謂本法制定ノ第一ノ目的、其目的ヲ遂行スルコトノ出來ナイヤウニ修正セラレテ、吾吾ハソレニ賛成スルコトガ出來ルデアリマセウカ、更ニ又此中デモ御話ガアリマシタガ、サウ云フ結果ト致シマシテ、腕ニ覺エノアル労働者ハ、勢ヒ待遇ノ良キ工場ニ向ッテ常ニ移動シテ居ル、サウ云フ結果カラ致シマシテ、本法ノ適用ヲ受ケナイヤウナ小工場ニハ、益、技術アル労働者ヲ失ッテシマフ、サウ云フコトガ又中小工業ガ今日日本ニ於ケル生産額ノ七割以上ヲ占メテ居ルノ

ノデアルガ、其重要ナル工業中七割ヲ占メル所ノ工場ニ於テ、優秀ナル職工ヲ失フコトニモナル、其事自體ガ又日本ノ産業ノ進展ノ上ニ非常ニ惡イ結果ヲ齎スト云フコトモ、産業政策ノ上カラ考ヘナケレバナラスノデアル(拍手)幾多ノ方面カラ考ヘテ見マシテモ、本法ノ適用ハ少クトモ十人以上ノ工場法適用ノ工場、或ハ鑛業法ノ適用ヲ受ケル鑛山、竝ニ屋外労働者ノ災害扶助法ノ制定ノアル處位ハ、少クトモ之ヲ實施シナケレバ本法制定ノ目的、眼目ト云フモノガ根本カラ打壞サレテ來ルト私ハ思フ、本當ニ當局竝ニ本院ノ各位ガ、此點ニ深キ省察ヲ戴キマスナラバ、翻然トシテ私ハ私ノ修正意見ニ賛成シテ下サルコトヲ御願セザルヲ得ナイノデアリマス

更ニ第五條ノ中デ、第一項中ノ「六月」ヲ「三月」ニ改メルト云フコトハ、質問ノ中ニモ申上ゲマシタヤウニ、是ハ主トシテ臨時工ト看做サレル所ノ人達ノ問題デアリマシガ、今日ノ臨時工ガ起テ來マシタ所ノ原因ニ付キマシテモ、私ハ委員會申上ゲマシマシタ、即チ軍需「インフレ」ノ景氣ニ依リマシテ、軍需工業ト云フモノガ盛ニナリマシタコトカラ、今日ノ所謂臨時工制度ト云フモノガ發達シテ來タノデアリマスガ、其

當時ハ大抵臨時職工ト云フモノハ、三箇月デアッタノデアリマス、六箇月ト云フヤウナ臨時工ハ餘リ多クナカッタ、ソレガ軍需「インフレ」ノ景氣、軍需工業ト云フモノガ稍、永續性ヲ持ツヤウニナリマシテカラ、其永續性ヲ持ツヤウニナッタに伴レテ、臨時工期限ト云フモノガ段々ト長クナッテ參リマシテ、遂ニ是ガ六箇月トナリ、或ハ今日デハ一年以上モ期限ヲ設ケルヤウナモノガ出來テ來テ居ル、臨時工ソレ自體ノ性質カラ考ヘテ見マスナラバ、三箇月アレバ十分デアリマス、今日ノ機械工業ノ工場組織ノ上カラ見マシテモ、産業組織ノ上カラ見マシテモ、相當多量ノ註文ヲ一時ニ引受ケ、其事ニ依ッテ臨時職工ガ必要ナリト云フヤウナ場合ガ生ジマシテモ、概ネソレハ三箇月モアレバ十分ニ其仕事ヲコナシ得ル所ノ今日ハ産業能力ヲ持テ居ル、サウ云フ事態カラ申シマシテモ、臨時職工ノ期限ト云フモノハ三箇月アレバ十分デアリマス、隨テ私ハハ現實ノ問題トシテ三箇月デ十分デアルト思フ

ソレカラ同條ノ第一項中ノ「一年」ヲ「六月」ニ改メマスコトハ、是ハ季節労働ノ問題デアリマスガ、原案ニ依リマス、一年以下ノ期限ヲ切ッテ使フ所ノ、所謂季節労働

ト云フモノガ規定セラレテ居ルノデアリマスガ、今日季節労働ト云フモノハ、是ハ又此委員會デ私ガ申シマシタヤウニ、季節ト云フコトハ、私ハ僅ニ小學校ヲ出タバカリノ博學(笑聲)淺學ナ者デアリマス、此言葉ヲ間違ヘル程ニ私ハ淺學デアリマス(ハクハ薄イダ)ト呼フ者アリ)サウ云フ者ガ季節ニ使ハレル、季節ト云フ字ハ私ハ春夏秋冬ノ季節カラ來テ居ル文字ダト思フ、隨テ季節労働ト云フモノハ、是ハ春ノ時期ノ仕事、或ハ夏ノ季節ニ使ハレル労働者、或ハ秋ノ季節ニミ使ハレル労働者、或ハ又仕事ニ依リマシテハ、春ト夏ト秋トダケノ仕事ノアル者ガアラウ、或ハ夏ト秋トダケノ仕事ノアル者ガアルデアラウ、サウ云フ意味合ニ於テこそ季節労働ト云フモノガ認めラレルト思フ、ニモ拘ラズ一年ト云フヤウナ季節労働ヲ認メルト云フコトハ、結局其人ハ永遠ニ季節労働トシテ本法ノ適用ヲ受ケナイコトニナリハシナイカ、當局ノ説明ニ依リマスルト、一箇年ノ間ニ一月位仕事ノナクナル仕事モアルト云フコトデアリマスガ、縦ンバサウ云フ仕事ガアリマシテモ、サウ云フ労働者、サウ云フ職工ト云フ者ハ、ドウ云フ生活ヲシテ居ルノデアリマスカ、十一箇月働イテ、一箇月ハ其仕事ガナイ、斯ウ

云フ労働者ハ一箇月休ンダナラバ、次ノ月カラ又同ジ仕事ニ就ケルノダト云フ状態ニ置カレテ居ルノデアリマス、隨テ、ソレハ仕事ノ性質上一月休ミマスケレドモ、ソレハ永續シテ工場ニ働イテ居ルノト少シモ變ラナイノデアリマス(「ヒヤ／＼」斯ウ云フコトガ許サレルナラバ、恐ラクサウシタヤウナ労働者ノ總テハ本法ノ適用ヲ受ケナイヤウニナルデアラウ、私ハ此意味ニ於キマシテ、季節労働ト云フモノハ六箇月アレバ十分ダト思フ、是ガ、一年中ヲ四季ニ分ッテ、其第三季ニ互ルヤウナ労働デアアルナラバ、ソレハ一季休ムト云ヒナガラ、其労働條件ノ多クハ、一季休ンデモ、ドウナリ斯ウナリ食ヘルダケノ労働條件ヲ與ヘラレル事業デアアル、四季ノ中一季ダケ休ムカラ、其間ハ特別ナ仕事ヲスル——ソレハ臨時的ニ見付ケル者モアルデアリマセウ、ケレドモ其職人、其労働者ハ、主トシテヤハリ其労働ニ従事スルコトヲ唯一ノ生活手段トスルノデアアル、隨テサウ云フ者ハ當然本法ノ適用範圍ニ入レラレナケレバナラス、此意味合ニ於テ、季節労働者ハ私ハ六箇月デ十分デアアル、斯ウ改メナケレバ、原案ノ如キハ全ク其季節労働ノ意味ヲ持ッテ居ラナイト考ヘル(「ヒヤ／＼」)

更ニ第二十六條ノ第一項第一號ニ「勤続一年以上三年未満ノ者ニ付テハ標準賃金二十日分ニ相當スル金額」ヲ與ヘルトナッテ居ルノデアリマス、サウシテ第二號ニ「勤続三年以上ノ者ニ付テハ標準賃金三十五日分ニ相當スル金額」ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居リマスガ、是亦社會局ノ原案ニ依リマスルナラバ、三年未満ノ者ニ二十日分ト云フヤウナ案ハナカッタノデアリマシテ、最初カラ是ハ三十五日分デアッタノデアリマス、是ハ等差ヲ付ケズニ與ヘルコトガ當然デアルト考ヘマスガ、一步譲ッテ原案ニ從ヒマシテモ、私ハ、私ノ修正案ノ如ク改メル必要ガアルト思フ、二十日分ト三十五日分ノ二段ニスルコトヲ認メマシテモ、私ノ修正ノ如クニセラレルノガ當然デアルト思フ、即チ勤続一年未満ノ者ニ付テハ賃金ノ二十日分ヲ與ヘル、一年以上ノ者ニ付テハ三十五日分ヲ與ヘルト云フコトガ當然デアリマスマイカ、是ハ本條ハ事業主ノ任意ノ都合デ解雇スル場合デアリマス、斯ウ云フ場合デアリマスナラバ、是ハ勞働者ガ勝手ニ辭メテ行ク場合ト違フノデアリマス、隨テオ前ハ一年未満デアルカラ、一文モヤラナイト云フヤウナ處置ハ不當デアルト思フ、當然一年未満デアリマシテモ、其處ノ

工場デ雇ウテ、ドウ云フ事情ガアルカ知ラヌガ、事業主ガ勝手ニ是ハ解雇スル場合デアリマスカラ、是位ノ手當ヲ支給スルコトハ是ハ當然デアリマス（「ヒヤ〜」）隨テ又一年以上ノ者ニ付テハ三十五日分ノ手當ヲヤルト云フコトモ適當デアルト云フコトハ、皆サンノ十分ニ御承認下サル所デアラウト私ハ考ヘマス

「斯ウ云フ問題ハ各黨ノ自由問題ニシテ……」委員長退場ヲ命ジロ「其他發言スル者アリ」

○熊谷委員長 私語ヲ禁ジマス

○塚本委員 更ニ第三十三條ノ中ノ「又ハ三千圓以下ノ罰金」ト云フノヲ削除致シマシテ、即チ「事業主第二十一條第一項（第三十條第四項又ハ第四十二條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ許可ヲ受ケズシテ退職手

當積立金又ハ準備積立金ヲ處分シタルトキハ三年以下ノ懲役ニ處ス」斯ウ改メルノデアリマス、即チ此處デハ罰金刑ヲ削除シ、サウシテ體刑一本ニシタイト云フノガ私ノ修正意見デアリマスガ、今日本法ヲ適用セラル、所ノ事業主、工場主ニ取ッテハ、此額ハ積リ積ッテ相當額ニナラウト考ヘマシマスガ、只今ノ民政黨側カラ出サレマシタ所ノ修正案ノ如ク之ヲ「一年以下ノ禁錮又ハ三

千圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フヤウナ罰金刑體刑デアッテハ、ソレハ目的ヲ果サナイト思フ、惡辣ナ資本家ノ中ニハ、随分間違ッテ行爲ヲ爲ス者ガアルト云フコトハ、私以外ノ議員ノロカラモ、此委員會ノ席上ニ於テ述ベラレタ、サウ云フヤウナ心得ナ工場主モナイデハナイノデアアル、又不心得デナクテモ、或ル場合ニ於キマシテハ、經濟界ノ變動ニ伴ヒマシテ、非常ナ苦境ニ立ツヤウナ時ニ至ル場合モアルデアリマセウ、サウ云フ場合ニハ背ニ腹ハ代ヘラレズ、ツイ仕方ガナシニ此金ニ手ヲ出ス所ノ事業主ナシトハ保シ難イノデアリマス、サウ云フ不安ヲ除ケ爲ニ、此罰則條項ト云フモノガ設ケラレテ居ルノデアリマス、隨テ其罰則條項ヲ設ケル目的、ソレ自體カラ言ヒマシタナラバ、私ハ當然罰金刑ヲ削除シテ體刑ニスルコトガ當然デアルト思フ（拍手）何故カナラバ、斯様ナ罰金刑デアリマスナラバ、ナニ默ッテ使ッテモ三千圓ノ罰金サヘ納メレバ宜イノダ、斯様ナ考ガ事業主ノ間ニ起ラナイトハ誰カ保證出來ルノデアリマスカ、サウ云フコト自體ガ、多クノ勞働大衆ニ失業ノ時ニ與ヘル所ノ大事ナ金ヲ使ヒ果シデシマウテ、不幸ナ状態ニ陥ラシメルト云フヤウナコトガ許サレルノデアリマス、サウ云

フヤウナ尊イ大事ナ金、使ッテハナラナイ、サウ云フ金ヲ使フ所ノ事業主ニ對シテハ、金サヘ出セバ宜イノダト云フヤウナ考ヲ抛棄セシメル爲ニ、私自身ノ考カラシマスルナラバ、此懲役ノ年數ハ五年ニモ或ハ十年ニシテモ宜イト思フ、ケレドモ私ハ先以テ少クトモ罰金刑ダケヲ削除シテ、サッシテ是ハ體刑ニ處スルト云フコトニシナケレバナラナイト考ヘルノデアリマス、ソレガ又本法制定ノ目的デモアルト考ヘマス、以上私ガ申上ゲマシタノガ大體修正案ヲ提出スル理由デアリマス

更ニ私ハ此機會ニ於キマシテ、當局ニ對シテ二三ノ希望ヲ述ベテ置キタイ、是ハ修正案ニ對スル附帶決議デモ何デモアリマセヌ、此案ノ運命ガドウナルカハ知りマセヌガ、兎ニ角此退職積立金法委ト云フモノガ實施セラレマス場合ノコトヲ考ヘマシテ、二三ノ註文ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス、先ヅ第一條ノ第二項ニ依リマシテ省令ヲ出サレマス場合ニ於キマシテ、當局ノ方デハ或ハ製絲業デアルトカ、或ハ織物業デアルトカ、或ハ紡績業、陶磁器、燐寸、珐瑯磁器、或ハ電球、斯ウ云フヤウナ事業ニ迄モ除外例ヲ設ケヨウト爲サルヤウデアリマスガ、是ハ一ツ考ヘテ貰ハナケレバナラ

ヌノデアリマス、先刻申上ゲルヤウニ、本

法ハ出来ルダケ廣イ範圍ニ、而モ割合ニ資

力薄弱ト認メラレルヤウナ工場、非常ナ低

級ナル労働條件ニ依ッテ使ハレテ居ル所ノ

労働者ニコソ、本案ノ適用ガ必要デアルト

云フコトガ述べテ居ルデアリマスカラ、

其趣旨ニ依リマシテモ、第一條ノ第二項

ニ基ク所ノ省令ヲ制定セラレマスル場合

ニ於キマシテハ、出来ルダケ此除外ノ範圍

ヲ狭メテ載キタイノデアリマス、同時ニ此

中ニ於テ、是ハ當局ニ對スル希望デアリマ

セヌガ、今民政黨カラ出サレマシタ所ノ修

正案ノ中ニ第三號ヲ削除スルト云フ意見ガ

出テ居リマスガ、是ハ私ハ全ク解スルニ苦

シムノデアリマス、其修正案提出者モ漸次

其適用範圍ヲ廣メテ行クコトハ理想デアル、

其事ニハ賛成デアルト云フコトヲ述べラレ

テ居ルデアリマス、サウスルナラバ漸次

此適用範圍ヲ廣メテ行クコトノ出来ル此第

三號ヲ……

○熊谷委員長 塚本君、アナタノ今ノ御話

ハ政府ニ對スル希望デナクテ、川崎君ニ對

スル所ノ駁論デスカラ、成ベク本案ニ關ス

ル希望ヲ述べラレルヤウニ願ヒマス

○塚本委員 委員長ノ仰シヤルコトハ能ク

分リマシタ、是カラ希望ヲ述べマス、次ノ

第五條ノ第二項ノ内容ニ付デアリマス

ガ、即チ季節的事業トシテ政府ノ方デハ爾

ノ乾燥デアルトカ、或ハ製糖味醃ノ製造、

或ハ葡萄酒ノ醸造、製茶、精穀、製粉、或

ハ澱粉製造ノ事業、清涼飲料水ノ製造事業

ト云フヤウナモノヲ大體考ヘテ居ラレルヤ

ウデアリマス、是等ノ中ニハ、先刻私ガ申シ

マシタヤウニ、決シテ季節的事業者デハ

ナイ、季節的事業デハナイト云フモノガ

多ク含まレテ居ルデアリマス、成程ソレ

自體カラ見レバ、季節の労働ト云フ性質ヲ

持ッテ居ルモノガアルデアリマセウケレド

モ、是等ノ事業ノ中ニハ依然トシテ、此仕

事ソレ自體ニ依ッテ永久ノ自分ノ「パン」ヲ

得ル途トシテ居ル者ガ多クアルノデアリマ

ス、決シテ是等ノ事業全體ガ季節的事業

デハナイト云フコトヲ御反省ガ願ヒタイノ

デアリマス、ソレカラ第六條ニ依ッテ定メ

ラレル所ノ勅令デアリマス、是ハ是非一ツ

當局ニ考ヘテ載キタイノデアリマスガ、委

員會デモ一言此點ニ私ハ觸レテ置キマシタ

ケレドモ、當局デハ是ハ健康保險法ノ適用

同様ニ其標準賃銀ヲ定メヨウト云フ御意向

デアラレルヤウデアリマス、是ハ蓋シ今日

ノ場合或ハサウシナケレバ已ムヲ得ナイカ

トモ考ヘマス、併ナガラ健康保險法ノ施行

ノ如クニ、此賃銀或ハ標準賃銀ヲ定メマス

ルナラバ、之ニ依リマス第一級カラ十六級

ニマデ標準賃銀ガ分レルコトハ御承知ノ通

リデアリマス、而シテ一級ノ標準賃銀ハ僅

ニ三十錢デアル、ソレカラ級ヲ上ルニ從ヒ

マシテ、一級ノ三十錢カラ四十錢トナリ、

五十錢トナリ、六十錢トナリ、七十錢トナ

リ、八十錢トナリ、七級ニ及ンデ其標準賃

銀ガ一圓トナルデアアル、以上十六級ニ及

ンデ其賃銀ハ四圓ト規定セラレルデアリ

マスガ、今申シマス中ノ一級カラ所謂六級

マデ、即チ三十錢カラ八十錢、斯ウ云フ低

イ標準賃銀ヲ定メラレル労働者ノコトヲ考

ヘテ貰ハナケレバナラス、是等ノ労働者ガ

本法ノ適用ニ依リマシテ、或ハ一年未滿デ

解雇セラレテ、特別手當ハ一文モ貰ヘナイ、

一年以上三年未滿デ僅ニ二十日分、三年以

上ガ僅ニ三十五日分、此三十五日分或ハ二

十日分ト云フ金ガ斯ウ云フ三十錢ヤ四十錢

ノ金デ計算セラレテ、ソレガ一體何ノ役ニ

立チマスカ、却テ此賃銀或ハ標準賃銀ヲ定

メラレマス場合ニ於テハ、等級自體ヲ斯様

ニ決メラレルコトハ、労働者ノ收入ノ上カ

ラ言ッテ是ハ已ムヲ得ナイカモ知レナイガ、

併ナガラ本法實施ニ當ッテ眞實之ヲ支給ス

ル場合ニ於テハ一圓ニ滿タザルモノ、即チ

六級以下ノモノハ少クトモ八級ヲ以テ支給

ノ基準トスル、即チ最低ヲ一圓ヲ以テ計算

スルヤウニ何等カノ方法ニ依ッテ決メテ載

キタイノデアリマス

ソレカラ更ニ第二十四條ノ第一項ノ但書

ガ、是亦省令ニ依ルノデアリマスガ、此場

合ニ於キマシテモ、背信ノ行爲ニ依リ解雇

セラレル場合、斯ウ云フ場合ニ於テ全額ヲ

支給セラレナイコトハ吾々ハ承知シマス、

サウ云フ背信行爲ガアツタ場合ニマデモ、吾

吾ハ手當ヲ呉レトハ言ハナイ、斯ウ云フ場

合ニ於テハ、時トシテ吾々自ラ吾々ノ仲間

ニ對スル所ノ懲罰ノ意味ヲ以テ、仲間ヲ戒

メル意味ニ於テ、サウ云フ金ヲ與ヘテヤッテ

ハ困ルト云フヤウナコトヲ言ヒ得ル場合モ

アルデアラウト思フ、隨テ是等ノ者ニ對シ

テハ、是ハ異議ハアリマセヌガ、此三年未

滿ノ者ガ自己ノ都合ニ依ッテ辭メテ行ク場

合ニ、一文モヤラヌデモ宜イ、是ハ餘リニ

酷デハアリマスマイカ、斯ウ云フ省令ヲ決

メラレマスルナラバ、甚ダ労働者ハ此恩惠

ニ預ルコトガ少イト言ハナケレバナラス、

殊ニ紡績女工ノ如キハ私ガ申上ゲルマデモ

ナク當局ハ既ニ御承知デアルト考ヘマス

ガ、其勤続年數ノ平均ト云フモノハ二年ソ

コソコデアアル、ソレハ女工ノ本來ノ性質カ

ラ見テ、是ハ永續キハシナイ、又工場ノ設備カラ言ヒマシテモ、長ク其處ニハ勤マラナイ、僅カナ年數勤メテ多クノ女工ガ肺病ト云フモノニ罹ッテ、其工場ヲ去ッテ行カナケレバナラス、其勤續ノ年數ガ三年ニ足ラナイコトハ御承知デアリマス、隨テ斯ウ云フヤウナ場合ニ辭メテ行ク者ニ一文モヤラヌデモ宜イト云フヤウナ省令ヲ出サレテハ困ルノデアリマス、デアリマスルカラ、三年未滿ト雖モ、資本金ハハリ相當ノ金ヲ與ヘナケレバナラス、是デハ一文モ貰ヘナイノデアリマス、自分ノ積ンダ金シカ貰ハレナイノデアリマス、ソレハ餘リニ殘酷デハアリマスマイカ、私ハ如何ニ三年未滿ト雖モヤハリ當然ニ或ル程度ノ手當ハヤラナケレバナラスト思フ、必シモ私ハ全額ヤッテ下サイトハ言ハナイ、私ハ此點ニ付キマシテモ、省令ガ決メラレル場合ニ確ト考ヘテ戴キタイノデアリマス、更ニ三年以上ノ者デアリマシテモ場合ニ依ッテハ之ヲ三分ノ一ニマデ減ズル、斯ウ云フヤウナ省令ガ出來マシタ場合ニ於キマシテハ、多ク資本金ト云フモノハ其最低ヲ與ヘテ糊塗サレルノデアリマス、此事情ハ健康保險法ノ適用ニ於キマシテモ、或ハ工場法ノ適用ニ於キマシテモ、概ネサウデアルコトハ十分御承知下

サッテ居ルコトト思フノデアリマス、是ハ私ハ討論ヲスルノデアリマセヌ、當局ニ向ッテ言フノデアリマスカラ、誤解ノナイヤウニシテ戴キマスガ、少クトモ「ト云フヤウナ言葉ヲ使ッテ置ケバツイソコニ勞働爭議ヲ惹起ス因ヲ成スモノデアル、ダカラ是ハ固定的ニ決メテ置ク方ガ宜イノダ、斯ウ云フヤウナ意見ガアルノデアリマス、ケレドモ、此意見モ亦私ハ一考ヲ要スル問題ダト思フ、今日工場法ノ適用ガドウ云フ状態デアリマス、健康保險法ノ適用ノ状態ガドウデアリマス、概ネソレハ最低ノ賃銀シカ與ヘラレテ居ラナイ、最低ノ扶助料シカ與ヘラレテ居ラナイ、例ヘバ工場法ニ於テ八十日分以上ヲ與ヘル、或ル場合ニハ百六十日分以上ヲ與ヘル、或ハ最高ノ場合ニ於テハ五百何十日分與ヘルト云フ「以上」ト云フ言葉ガ使ハレテ居ルノデアリマス、此場合ニ斯ウ云フ規定デアッタナラバ、ソレ以上勞働者ガドレダケ要求スルカ分ラナイ、サウ云フコトハ勞働爭議ヲ惹起ス所ノ原因デアルト諸君ハ言ハレルデアラウ、ケレドモ實際ノ事情ハサウデハナイ、勞働者ノ多數ハ以上ト決メラレテ居ル金ノ一番最低ヲ貰ッテ居ル者ガ大部分デアル、扶助料ヲ與ヘラレテ罷メテ行ク者ハ僅カ其多クノ勞

働者ノ一割カニ割アルカナイカノ状態デアル、大抵ハ皆ソレハ「以上」ト書カレテ居ル中ノ一番最低ノ金ヲ貰ッテ居ルノデアリマス、其事ニ依ッテ一體勞働爭議ガナンボ起ッテ居ルノデアルカ、其事自體デ勞働爭議ガ起ッタコトヲ私ハ知ラナイノデアリマス、隨テ「少クトモ」ト云フ言葉ガアッテモ、其事ニ依ッテ勞働爭議ガ惹起サレルト云フコトハ、私ハ承服出來ナイ、私ハ斯ウ云フ修正案ニ對シテモ當局ハ斷乎トシテ應ゼラレナイデアラウト云フコトヲ信ズル者デアリマス、大體私ハ以上修正ニ對スル修正意見ヲ述ベ、修正ノ理由ヲ述ベ、又當局ニ對スル希望ヲ述ベマシテ、私ノ發言ヲ終ル次第デアリマス(拍手)

○熊谷委員長 渡邊君

○渡邊委員 只今塚本君ノ修正案ニ極メテ簡單ニ賛成ノ意見ヲ申述べマス(拍手)本法ハ現在ノ日本ノ社會制度、竝ニ經濟組織ノ下ニ於キマシテハ、其運用ニ大ナル期待ヲ掛ケラレナイノハ事實デアリマス、何故ナラバ本法ノ施行ニ依リマシテ新シク傭入ラレル勞働者ハ必ズ賃銀ノ低下ヲ見ルデアラウト私共ハ信ジテ居ル、併ナガラ本法ノ此機能ヲ完全ニ發揮サセルニハ時間ヲ俟タナケレバナラナイト云フ、内務大臣ノ此

間ノ御説明モアリマシタル如ク、本法ハ其機能ヲ發揮スル上ニ於テ、其運用ヲ活潑ニスル上ニ於テハ、ドウシテモ最低賃銀制ト云フ、其制度ノ下ニ於テ初メテ爲サレルモノデアルコトヲ信ズルノデアリマス(拍手)

ソレカト言ッテ斯ノ如キ微溫的ナ法律ハ要ラナイカト言フト、是デサヘ勞働者ハ非常ニ希望シテ居ルノデアリマス、若シ斯ウ云フヤウナ法律デモ、是ハイカヌ、コンナ微溫的ナモノデサヘ議會ガ通過シナイト云フコトニナレバ、勞働者ハ現在ノ日本ノ社會情勢ニ於テ何ヲ希望シ、將來ニ如何ナル希望ヲ持ッテ其日ノ生活ヲ送ルノデアリマセウ、吾々ガ斯ノ如キ民政黨側ノ修正案ニ反對スル所以ハ其處ニアルノデアリマス(拍手)所謂今日ノ日本ノ産業ノ根幹ヲ成スモノハ勞働者デアリマス、御承知ノ如ク時代ハ進歩シテ、段々々々現狀維持ト現狀打破トガ激化抗爭スルノヲ、何トカシテ其抗爭ヲ政府ガ爲サシメナイヤウニ、其統制ノ力ヲ爲サントスルノガ本法ノ現レデアルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)刑罰ニ於キマシテモ、民政黨側ノ修正ハ一年以下ノ禁錮デアリマシテ、塚本君ノ方ハ三年以下ノ懲役ト云フ原案通りデアリマス、私共ガ考ヘマスノニ、此度ノ此委員會ニ於キマ

スル委員ノ所ヘハ幾十通ノ電報ガ参リ、又資本家側ノ人ガ澤山訪ネテ参リマシテ、何トカシテ斯ウ云フ風ニ修正シテ呉レ、所謂「三十人」ヲ「五十人」ニシテ呉レ、「少クトモ」ト云フ文字ヲ取ツテ呉レ、利益配當ニ依ル積立金ノ率ヲ何トカ變ヘテ呉レト云フヤウナ運動ガ澤山來タノデアリマス、資本家側カラハ、電報ハ山ノ如ク來ル、手紙ハ澤山來ル、所ガ勞働者側ノ方カラハ唯ノ一通ノ手紙モ、唯ノ一人ノ運動員モ來ナイ、私ハソレヲ見テ如何ニ今日ノ勞働者ガ、ソナ運動ヲスル資金サヘ無ク、非常ニ慘憺タル状態ニ在ルカラ思ヒマシテ、斯ノ如キ法案ハドウシテモ通シテヤラナケレバナラヌト力説シテ居タノデアリマス、當今一日漸ク三十錢ノ賃銀デ朝カラ晩マデ十一時間モ働カナケレバナラヌト云フヤウナ人が現在日本ノ吾々ノ同胞ニ居ル、而モソレ等ノ同胞ハ一朝事有レバ銃ヲ持ツテ國家ヲ護ツテ居ル、斯ウ云フ氣ノ毒ナ人が澤山居ル、ソレヲ三十人ヲ五十人ニスルト、十八萬人モ此處デ希望ヲ失フ人が出來ルト云フコトハ、私共ハドウシテモ賛成スルコトガ出來ナイノデアリマシテ、私ハ固ヨリ本案ノ全部ガ悉ク現状デ妥當デアルトハ考ヘマセヌガ、少クトモ無キニハ優ルト云フ意味デ賛成シ

テ居ルノデアリマシテ、殊ニ自ラ勞働者ノ體驗ヲ有シ、尊キ其經驗ノ上ニ立論致サレマシタル塚本君ノ御意見ニ滿腔ノ敬意ヲ表シマシテ、其修正ニ賛意ヲ表スル者デアリマス（拍手）

○犬養委員 私ハ此場合政府ノ御答ヲ得タイト存ジマスガ、先刻川崎君ヨリ提出セラレマシタ修正案ガ法律トシテ實施セラレタ場合ニ、アノ附帶決議ハ尊重致シマスヤ否ヤ、之ヲ伺ヒタイト存ジマス

○潮國務大臣 犬養君ノ御尋ハ、川崎君ノ御提案ニナリマシタ修正案ガ愈、法律トナリマシタ場合ノ御尋ト思ヒマス、左様ナ場合ニナリマスレバ、固ヨリ附帶條項ノ御趣意ノ程ハ十分ニ尊重ヲ致サネバナラヌト思ヒマス

○犬養委員 私ハ政友會ノ委員ヲ代表致シマシテ、川崎君ヨリ提出セラレマシタ修正案見及ビ附帶決議ニ賛成致シマス

○岡本委員 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

○熊谷委員長 討論終結ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○熊谷委員長 討論ハ終結致シマシタ、是ヨリ採決致シマス、先ヅ第一控室ノ塚本重

藏君ヨリ提出セラレマシタル修正案ニ付テ採決致シマス、修正案ニ賛成ノ方ノ起立ヲ求メマス

「贊成者 起立」

○熊谷委員長 起立少數、仍テ塚本君ノ修正案ハ否決セラレマシタ、次ニ民政黨ノ川崎末五郎君ヨリ提出セラレマシタ修正案ニ付テ採決致シマス、贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

「贊成者 起立」

○熊谷委員長 起立多數、川崎君提出ノ修正案ハ決定致シマシタ、次ニ此際念ノ爲ニ只今議決ノ修正部分ヲ除キタル原案ニ付テ採決致シマス、贊成ノ方ノ御起立ヲ望ミマス

「贊成者 起立」

○熊谷委員長 多數デアリマス、仍テ本案ハ修正可決セラレマシタ、尙ホ此際御諮リヲ致シマス、本案修正ノ結果、整理ヲ要スルモノアル時ハ、先例ニ依リマシテ委員長ニ御一任アラソコトヲ望ミマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○熊谷委員長 次ニ川崎末五郎君提出ノ附帶決議ニ付テ採決ヲ致シマス、贊成ノ諸君ハ起立ヲ願ヒマス

「贊成者 起立」

○熊谷委員長 起立多數、附帶決議ハ可決確定セラレマシタ、是ニテ當委員會ハ退職積立金及退職手當法案ニ付テハ終了致サレマシタ、是ニテ今日ハ散會致シマス

午後十時四十五分散會

昭和十一年五月二十三日印刷

昭和十一年五月二十四日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社